

日本病理学会口腔病理専門医研修要綱

令和 7 年 4 月

日本病理学会口腔病理専門医制度運営委員会

1. はじめに

現代の医療における病理学的重要性に鑑み、昭和 53 年 4 月に日本病理学会病理専門医（旧認定病理医）制度、ついで、昭和 63 年 5 月に日本病理学会口腔病理専門医（旧認定口腔病理医）制度が発足した。口腔病理専門医制度は、発足後 5 年間の暫定措置の後、平成 5 年度から認定試験が施行されてきた。この制度は、能力に優れた口腔病理医を認定することにより、わが国の医療内容の一層の充実と発展に寄与し、あわせて病理学の進歩に資することが目的である。

この目的にかなうよう、口腔病理専門医を目指すものは日本病理学会によって認定された研修施設において、人体病理学を 4 年以上研修し、求められる要件を充足していることが前提とされる。

この研修要綱は、口腔病理専門医試験を受けようとする病理研修者が習得しておくべき病理学的能力、ならびに口腔病理医に望まれる態度や姿勢を、一般研修目標および個別研修目標に分けて示したものである。一般研修目標とは期待される研修成果を総括的に表したもので、個別研修目標とは研修終了時において各人に求められる能力を、指導者ないし試験委員が観察または試験により評価できるよう具体的に述べたものである。したがって、これらの目標は口腔病理専門医試験と表裏一体をなすものである。

2. 一般研修目標

- (1) 卒前教育において習得した各種疾患の病理、ならびに病理学と関連する臨床的事項についての基本的知識をさらに発展させること。
- (2) 病態を正確に認識し、かつこれを表現する能力を有し、稀有でない症例については的確な病理診断を下しうること。さらに疾患診断や予後判定とともに、治療方針や研究方針についての病理学の立場から臨床医に助言を行い、必要に応じて批判も行いうること。
- (3) 口腔病理医に必要な基本的諸技能を習得していること。
- (4) 患者およびその家族の立場を尊重し、他の医師および関係者と協調して医療にあたる基本的態度を有すること。自己の能力を認識し、対象がその限界を超えると判断した時は、上司や専門家の助言を求める姿勢を持つこと。また、検討会、セミナーなどに積極的に参加し、生涯にわたり自己学習を続けるとともに、常に研究心を失わぬこと。設備や機器についても知識と関心を持ち、剖検室、病理検査室などの管理運営に努めること。

3. 個別研修目標

A. 剖検

- ☐ (1) 剖検の意義を認識すること。死体解剖保存法（昭和 24 年法律第 204 号）に従って必要な法的処置をとり、遺体に対して礼を失することなく丁寧に扱うこと。
- ☐ (2) 剖検に必要な設備と器具の特徴および使用法を熟知し、それらを正しく使用すること。
- ☐ (3) 感染症例の感染防止対策を指示できること。
- ☐ (4) 剖検に際しての問題点をまとめることができること。
- ☐ (5) 当該例に最もふさわしい解剖方法を選び、問題点を解決しながら遂行できること。
- ☐ (6) 肉眼所見を正しく把握、整理し、剖検時に可能な限り病理解剖学的診断を下すとともに、剖検後速やかに記録を作成すること。必要に応じて記録写真を撮ること。
- ☐ (7) 顕微鏡標本作製のための「切り出し」が的確にでき、通常の固定とともに必要があれば電子顕微鏡用の固定やそのほかの特殊固定を選択し、実行できること。
- ☐ (8) 微生物学的、生化学的、分子病理学的、あるいは毒物学的検査が必要か否かを判断し、必要であれば専門家に依頼するなど適切な処置ができること。
- ☐ (9) 臨床経過、検査データ、生前の組織診断、細胞診断を参照し、肉眼所見、組織所見を総合し、正しい剖検診断を作成・記録して臨床側に報告できること。必要に応じて細菌検査、血清検査、電子顕微鏡、特殊染色、免疫組織化学などの結果を的確に把握し診断の精度を向上させることができること。
- ☐ (10) 院内の CPC を施行し、関係者の教育ができること。
- ☐ (11) 剖検を研修医、学生および技師に指導できること。
- ☐ (12) 剖検記録などの資料を整理・保管し、日本病理剖検輯報に登録できること。

B. 生検、外科切除検体の病理診断

- ☐ (1) 生検が疾患の確定診断を下し、患者の治療方針、予後判定の重要な指標となることを十分認識すること。
- ☐ (2) 病理検体検査について社会保険診療報酬、感染検体の取り扱い、医療廃棄物の取り扱いなどの基本的知識を有していること。
- ☐ (3) 受理した検体の肉眼的所見を観察、記録し、必要に応じて写真、スケッチなどを付すこと。速やかに検査目的に合致した切り出しと固定を行うこと。また、必要な場合は捺印細胞診あるいは電子顕微鏡的、免疫学的、分子病理学的検査など特殊な検査に供するための処置を施すことができること。
- ☐ (4) 組織標本の品質（切片の厚さ、染色性など）を判断し、技師へ再薄切、再切り出しなどの指示ができること。
- ☐ (5) 組織所見を正確に把握でき、記載することができること。診断にあたっては、必要な臨床側の情報をできるだけ多く入手すること。また、特殊検査（一般特殊染色、免疫組織化学、分子病理学など）の知識を有するとともに、その必要性を理解し、適切にオーダーすることができることとともに、その結果を的確に判断できること。
- ☐ (6) 正しい診断名を記し、適切な報告書を作製できること。また、それを臨床へ間違いなく提出できること。特に腫瘍の場合は、予後因子、治療効果なども含めて記載することができ、取扱い規約があるものについては、規約に準じて診断できること。
- ☐ (7) 臨床からの問い合わせに的確に返答できること。また、不適切な診断を適宜修正・追加報告ができること。
- ☐ (8) 組織診断報告書や切片・ブロックなどの管理についての理解があること。
- ☐ (9) 難解例については無理に診断せず、コンサルテーションを受ける態度と習慣を身につけること。
- ☐ (10) 求められる診断能力、知識の水準は別途記載する。

C. 術中迅速診断

- ☐ (1) 凍結切片による迅速診断の意義と適応、凍結切片作製、染色ステップを理解し自らも標本作製ができること。
- ☐ (2) 肉眼所見を正しく把握し、適切な切り出しができること。
- ☐ (3) 一定の時間内に迅速診断を正しく手術場に報告することができること。永久標本に比し標本の精度が若干落ちることを考慮し、診断の行き過ぎを避けるなど慎重に対処すること。また、固定に関する知識を有していること。
- ☐ (4) 永久標本による診断の確認を必ず行うこと。
- ☐ (5) 症例によっては、細胞診標本（捺印・圧挫）を作製し、また、電子顕微鏡用固定ができること。

D. 細胞診

- ☐ (1) 各種検体（婦人科、喀痰、気管支洗浄、擦過、胸水・腹水、尿、穿刺吸引など）を適切に処理できること。また、擦過・穿刺細胞診の正しい検体処理方法を臨床医に適切に指導できること。
- ☐ (2) パパニコロウ染色およびギムザ染色の方法の知識があり、自らも染色法を経験していること。細胞診標本に応用される特殊染色についての知識があること。
- ☐ (3) 染色塗抹標本が診断に適正か否かの判断ができること。
- ☐ (4) 細胞診標本のスクリーニングの経験があり、異常（異型細胞、炎症、病原体など）を指摘できること。
- ☐ (5) 退行性病変、炎症、腫瘍などいずれの病態に属するかを判別し、悪性腫瘍細胞については可能な限り組織型を推定することができること。
- ☐ (6) 再検、要生検、経過観察などの指示ができること。
- ☐ (7) 細胞検査士と情報交換し、その指導ができること。
- ☐ (8) 求められる診断能力、知識の水準は別途記載すること。

4. 特殊技能

A. 特殊染色

- ☐ 特殊染色の知識を有し、その染色結果を判読できるとともに、常用されているものについては自らその手技の実施経験を有すること。知識水準は、別途記載する（細目参照）。

B. 電子顕微鏡

- ☐ (1) 組織の固定、包埋、超薄、染色、電子顕微鏡（透過型）の使用法を説明できること。
- ☐ (2) 細胞の微細構造を知り、病理診断に有用な所見についての基本を説明できること。知識水準については別途記載する（細目参照）。
- ☐ (3) 免疫電顕法についての基礎を説明できること。

C. 酵素組織化学

- ☐ (1) 酵素組織化学の病理診断への応用を指示することができ、その染色結果を判読できること。
- ☐ (2) 知っておくべき酵素組織化学の知識水準は別途記載する（細目参照）。

D. 免疫組織化学

- ☐ (1) 免疫組織化学の原理、操作法（抗原賦活法も含め）について説明できること。
- ☐ (2) パラフィン切片を対象とした場合の、診断に有用な抗体（マーカー）について説明できること。
- ☐ (3) 実際に、組織診断・細胞診断へ免疫組織化学を応用できること。
- ☐ (4) 抗体、鑑別診断への応用についての知識水準は、別途記載する（細目参照）。

E. 分子病理

- ☐ (1) 遺伝子、核酸についての知識、Southern blotting, Western blotting, polymerase chain reaction (PCR), in situ hybridization (ISH) についての基礎を説明できること。
- ☐ (2) PCR, ISH などの分子病理学的検査法の病理診断における有用症例について説明できること。

2. 病理部門の管理・運営

- ☐ (1) 病院全体の管理・運営および医療監査の方法とその中で果たす病理部門の役割について述べることができ、それを活用できること。
- ☐ (2) 病理部門の経営、収入、人事管理についての基礎知識を有し、適切な管理運営ができること。
- ☐ (3) 診療報酬、バイオハザード、廃棄物適正処理に関する基礎知識を有し、それを活用できること。
- ☐ (4) 組織診断、細胞診断の精度管理についての基本的知識を有し、それを活用できること。診断に関するコンサルテーションについて理解していること。
- ☐ (5) 研修医、学生、技師への教育に積極的に参加していること。

口腔病理専門医研修要綱細目

1. はじめに

本研修要綱細目においては、研修要綱に述べられている研修目標をより具体的に示すために、口腔病理専門医試験受験者が4年間の研修で修得しておかなければならない知識、技術の細目と、みずから診断できるべき疾患を列挙している。したがって、本細目は口腔病理専門医試験の出題基準となるべきものであり、大部分の問題はこの範囲内から出題される。

口腔病理専門医試験は、病理専門医試験と同一の全身病変と口腔病理専門医試験独自の口腔病変から構成される。全身病変については「病理専門医研修要項細目」と同一であり、以下の2. 総論、3. 各論に相当する。口腔病変については、専門性の高い内容を研修する必要があることから、4. 口腔病変として別記するが、口腔を構成する口唇、上・下顎歯肉、舌、口底、頬粘膜、口蓋や上・下顎骨、唾液腺に発症する病変以外にも、隣接する鼻腔・副鼻腔、咽頭、喉頭、頸部などを含めた頭頸部病変として理解すべきである。

2. 総論

A. 細胞

- ☐ (1) 細胞の基本構造：細胞内の小器官とその機能の基本を述べることができる。
- ☐ (2) 細胞傷害と細胞死の機序や形態変化を説明できる。
- ☐ (3) 細胞増殖や細胞分裂に関する基本的事項を説明できる。
- ☐ (4) 組織・細胞の分化 differentiation の基本を理解し、関連用語を正しく用いることができる。
- ☐ (5) 細胞分化の異常を理解し、関連用語を正しく用いることができる（化生 metaplasia, 異形成 dysplasia, 退形成 anaplasia）。
- ☐ (6) 細胞・組織の適応を理解し、関連用語を正しく用いることができる（過形成 hyperplasia, 肥大 hypertrophy, 萎縮 atrophy, 低形成 hypoplasia）。
- ☐ (7) 細胞・組織の障害時の修復機構を説明できる。再生組織と腫瘍（neoplasm）を形態的に鑑別できる。
- ☐ (8) 創傷治癒 wound healing, 器質化 organization, 瘢痕化 scar formation の過程を説明できる。

B. 炎症

- ☐ (1) 炎症の定義や一般的特徴、原因を説明できる。
- ☐ (2) 炎症巣の構造と構成細胞を説明できる。炎症に関わる細胞を形態学的に判定できる。
- ☐ (3) 急性炎症と慢性炎症の成立機序や組織学的所見を説明できる。
- ☐ (4) 炎症の種類、それぞれの病因や組織学的特徴を説明できる（漿液性炎、線維素性炎、化膿性炎、出血性炎、壊死性・壊疽性炎、慢性増殖性炎、肉芽腫性炎）。

C. 感染症

- ☐ (1) 病原体の種類や特徴、感染の成立機序を説明できる。
- ☐ (2) 各病原体の特徴や感染に伴う細胞・組織の変化、病原体の同定法を説明できる。

<ウイルス>

- ☐ DNA ウイルス：☐ヘルペスウイルス群 Herpesvirus group (HSV, VZV, EBV, CMV, KSHV),
☐アデノウイルス Adenovirus, ☐ヒトパピローマ Human papillomavirus (HPV), ☐ポリオマウイルス Polyomavirus (JC ウイルス), ☐パルボウイルス Parvovirus, ☐B 型肝炎ウイルス
- ☐ RNA ウイルス：☐ピコルナ Picornavirus (ポリオウイルス, コクサッキーウイルス, A 型肝炎ウイルス), ☐パラミキソウイルス Paramyxovirus (麻疹ウイルス, ムンプスウイルス), ☐フラビ Flavivirus (C型肝炎ウイルス, デングウイルス), ☐レトロウイルス Retrovirus (HIV, HTLV), ☐コロナウイルス Coronavirus

<細菌>

- ☐ グラム陽性球菌：☐ブドウ球菌 Staphylococcus, ☐レンサ球菌 Streptococcus, ☐腸球菌 Enterococcus
- ☐ グラム陽性桿菌：☐クロストリジウム属 Clostridium, ☐リステリア菌 Listeria, ☐放線菌 Actinomyces, ☐ノカルジア Nocardia

- ☐ グラム陰性球菌：☐ ナイセリア *Neisseria*
- ☐ グラム陰性桿菌：☐ 大腸菌 *E.coli*, ☐ サルモネラ *Salmonella*, ☐ エルシニア *Yersinia*,
☐ クレブシエラ *Klebsiella*, ☐ ビブリオ *Vibrio*, ☐ カンピロバクター *Campylobacter*,
☐ ヘリコバクター *Helicobacter*, ☐ シュードモナス *Pseudomonas*
- ☐ 抗酸菌：☐ 結核菌, ☐ 非結核性抗酸菌, ☐ らい菌
- ☐ スピロヘータ：☐ 梅毒トレポネーマ *Treponema pallidum*
- ☐ リケッチア, ☐ クラミジア, ☐ マイコプラズマ

<真菌>

- ☐ 表在性真菌症：☐ 白癬 *tinea*
- ☐ 深部皮膚真菌症：☐ スポロトリコーシス *sporotrichosis*
- ☐ 深在性真菌症：☐ カンジダ症 *candidiasis*, ☐ アスペルギルス症 *aspergillosis*, ☐ クリプトコックス症 *cryptococcosis*, ☐ 接合菌症 *zygomycosis* (ムコール症 *mucormycosis*),
☐ ニューモシスチス肺炎 *Pneumocystis pneumonia*

<原虫>

- ☐ アメーバ赤痢 *amoebic dysentery*, *Entamoeba histolytica*, ☐ トキソプラズマ症 *toxoplasmosis*, ☐ ランブル鞭毛虫症 *giardiasis*, *Giardia intestinalis*, ☐ トリコモナス症 *trichomoniasis*, ☐ マラリア *malaria*

<寄生虫感染>

- ☐ 吸虫症 *distomatosis*：☐ 住血吸虫感染症 *schistosomiasis*
- ☐ 条虫症 *cestodasis*：☐ 包虫症 *echinococcosis*
- ☐ 線虫症 *nematodiosis*：☐ 回虫症 *ascariasis*, ☐ 糸状虫症 *filariasis*, ☐ アニサキス症 *anisakiasis*
- ☐ (3) 日和見感染 *opportunistic infection* を説明できる。
- ☐ (4) 全身感染症と敗血症 *sepsis*、全身性炎症反応症候群 *systemic inflammatory response syndrome*、多臓器不全 *multiple organ failure (MOF)* について理解している。

代謝障害

有機物・無機物の代謝の概要と主な代謝異常疾患について説明できる。

- ☐ (1) 脂質代謝異常：☐ 脂質異常症 *dyslipidemia* (原発性高脂血症, 原発性低脂血症, 続発性脂質異常症), ☐ メタボリック症候群 *metabolic syndrome*, ☐ 複合脂質代謝異常症 (☐ Gaucher 病, ☐ Niemann-Pick 病, ☐ Fabry 病など)
- ☐ (2) 糖代謝異常：☐ 糖原病 *glycogen storage disease* (I 型 - VIII 型), ☐ 糖尿病 *diabetes mellitus* (インスリン依存性糖尿病・I 型糖尿病, インスリン非依存性糖尿病・II 型糖尿病)
- ☐ (3) タンパク質・アミノ酸代謝異常：☐ アミノ酸代謝障害 (☐ フェニルケトン尿症 *phenylketonuria*, ☐ メープルシロップ尿症 *maple syrup urine disease*, ☐ ホモシチン尿症 *homocystinuria* など), ☐ 尿素回路異常症 (☐ オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症), ☐ アミロイドーシス *amyloidosis*
- ☐ (4) 核酸代謝異常：☐ 高尿酸血症・痛風 *hyperuricemia/gout*, ☐ Lesch-Nyhan 症候群
- ☐ (5) 色素代謝異常症：☐ ポルフィリン症 *porphyria*, ☐ 鎌状赤血球症 *sickle-cell disease*, ☐ 黄疸 *jaundice (icterus)*
- ☐ (6) 無機物代謝異常：☐ ヘモジデローシス *hemosiderosis*, ☐ ヘモクロマトーシス *hemochromatosis*, ☐ 骨粗鬆症 *osteoporosis*, ☐ 骨軟化症 *osteomalacia*, ☐ 石灰沈着症 *calcinosis*

E. 循環障害

- ☐ (1) 血液循環の基本を説明できる。
- ☐ (2) 水腫 (浮腫) *edema*、充血 *hyperemia*、うっ血 *congestion*、出血 *hemorrhage* の定義と成立機序、形態学的特徴について説明できる。
- ☐ (3) 正常の止血機序と血栓の成立機序、形態学的特徴について説明できる。
- ☐ (4) 播種性血管内凝固症候群 *disseminated intravascular coagulation (DIC)* の定義や原因、形態学的特徴を説明できる。
- ☐ (5) 塞栓症 *embolism* の定義や種類、各塞栓症の特徴を説明できる。
- ☐ (6) 梗塞 *infarction* の定義と種類、その形態学的特徴を説明できる。
- ☐ (7) ショック *shock* の定義と分類、発生機序、各臓器における病理学的変化の知識があ

- る。
- ☐ (8) 高血圧 hypertension と低血圧 hypotension について定義や病因、関連する病理学的変化について説明できる。

F. 免疫異常

- ☐ (1) 自然免疫 innate immunity と獲得免疫 acquired immunity について説明できる。
- ☐ (2) 免疫系を構成する細胞と組織を説明できる。
- ☐ (3) 免疫応答の基本機序について説明できる。
- ☐ (4) アレルギー反応の定義、4 病型について説明できる。
- ☐ (5) 自己免疫疾患 autoimmune disease の発症機序、主な全身性自己免疫疾患について説明できる。

<疾患>

- ☐ 全身性エリテマトーデス systemic lupus erythematosus (SLE), ☐ 関節リウマチ rheumatoid arthritis, ☐ 全身性硬化症 systemic sclerosis, ☐ 皮膚筋炎 dermatomyositis・多発性筋炎 polymyositis, ☐ シェーグレン症候群 Sjögren's syndrome, ☐ 混合性結合組織病 mixed connective tissue disease, ☐ 結節性多発性動脈炎 polyarteritis nodosa, ☐ IgG4 関連疾患 IgG4-related disease
- ☐ (6) 臓器移植に関連した免疫反応について、発生機序や病理学的所見を説明できる (☐ 拒絶反応 rejection, ☐ 移植片対宿主病 graft-versus-host disease)。
- ☐ (7) 原発性・続発性免疫不全症候群 primary/secondary immune deficiency syndrome について説明できる。

G. 腫瘍 neoplasm, neoplasia, tumor

- ☐ (1) 腫瘍を定義することができる。
- ☐ (2) 良性腫瘍 benign tumor と悪性腫瘍 malignant tumor の特徴を説明できる。
- ☐ (3) 癌腫 carcinoma と肉腫 sarcoma の相違を説明できる。
- ☐ (4) 腫瘍の形態学的特徴、細胞異型と構造異型、分化度について説明ができる。
- ☐ (5) 前がん病変 premalignant lesion と境界病変 borderline lesion を説明できる。
- ☐ (6) がんの一般的な予後因子を説明できる。
- ☐ (7) ゲノムの構成、腫瘍発生に関わる遺伝子・染色体異常、エピジェネティクス、細胞周期、細胞死など、がんの分子生物学の基本事項を説明できる。
- ☐ (8) 腫瘍発生にかかわる主な分子経路 (WNT シグナル経路、MAPK 経路など) を説明できる。
- ☐ (9) 代表的な家族性腫瘍とその原因遺伝子を説明できる。
- ☐ (10) 腫瘍発生に関わるウイルスとウイルス関連腫瘍の発生機序を説明できる。
- ☐ (11) 代表的な分子標的治療について説明できる。
- ☐ (12) がんゲノムプロファイリング検査について概要と病理の役割を説明できる。

3. 各論

A. 口腔・顎、唾液腺

- ☐ (1) 口腔・顎

口腔

☐ 扁平苔癬 lichen planus, ☐ 口腔上皮性異形成 oral epithelial dysplasia (☐ 口腔上皮内腫瘍 oral intraepithelial neoplasia), ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 疣状扁平上皮癌 verrucous squamous cell carcinoma, ☐ 顆粒細胞腫 granular cell tumor, ☐ 腺窩性扁桃腺炎 lacunar tonsillitis, ☐ セメント質骨性異形成 (症) cemento-osseous dysplasia

<嚢胞>

☐ 歯根嚢胞 radicular cyst, ☐ 含歯性嚢胞 dentigerous cyst, ☐ 石灰化歯原性嚢胞 calcifying odontogenic cyst, ☐ 歯原性角化嚢胞 odontogenic keratocyst, ☐ 正角化性歯原性嚢胞 orthokeratinized odontogenic cyst, ☐ 腺性歯原性嚢胞 glandular odontogenic cyst, ☐ 鼻口蓋管嚢胞 nasopalatine duct cyst

<歯原性腫瘍>

☐ エナメル上皮腫 ameloblastoma, ☐ 腺腫様歯原性腫瘍 adenomatoid odontogenic tumor, ☐ エナメル上皮線維腫 ameloblastic fibroma, ☐ 歯牙腫 odontoma, ☐ セメント質骨形成線維腫 cemento-ossifying fibroma, ☐ セメント芽細胞腫 cementoblastoma

唾液腺

☐ 粘液嚢胞 mucous cyst (mucocele), ☐ シェーグレン症候群 Sjögren's syndrome, ☐ ミクリッツ症候群 Mikulicz disease (IgG4 関連唾液腺炎), ☐ リンパ上皮性嚢胞 lymphoepithelial cyst, ☐ 多形腺腫 pleomorphic adenoma, ☐ 唾液腺筋上皮腫 salivary gland myoepithelioma, ☐ 基底細胞腺腫 basal cell adenoma, ☐ ワルチン腫瘍 Warthin tumor, ☐ オンコサイトーマ oncocytoma, ☐ 多形腺腫由来癌 carcinoma ex pleomorphic adenoma, ☐ 粘表皮癌 mucoepidermoid carcinoma, ☐ 腺様嚢胞癌 adenoid cystic carcinoma, ☐ 腺房細胞癌 acinic cell carcinoma, ☐ 多型腺癌 polymorphous adenocarcinoma, ☐ 唾液腺導管癌 salivary duct carcinoma, ☐ 筋上皮癌 myoepithelial carcinoma, ☐ 上皮筋上皮癌 epithelial-myoepithelial carcinoma, ☐ 分泌癌 secretory carcinoma

B. 消化管

☐ (1) 食道

<非腫瘍性疾患>

☐ 異所性胃粘膜 ectopic gastric mucosa, ☐ 異所性皮脂腺 ectopic sebaceous glands, ☐ 静脈瘤 varix, ☐ Mallory-Weiss 症候群 Mallory-Weiss syndrome, ☐ 逆流性食道炎 reflux esophagitis, ☐ 好酸性食道炎 eosinophilic esophagitis, ☐ カンジダ性食道炎 candidiasis of the esophagus, ☐ バレット食道 Barrett esophagus, ☐ 糖原性肥厚 glycogenic acanthosis, ☐ 乳頭腫 squamous papilloma, ☐ 平滑筋腫 leiomyoma, ☐ 食道炎に伴う幼若再生上皮, ☐ 扁平上皮偽癌腫様過形成 pseudocarcinomatous hyperplasia

<腫瘍性疾患>

☐ 扁平上皮内腫瘍 squamous intraepithelial neoplasia, ☐ 上皮内癌 carcinoma in situ, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 類基底細胞扁平上皮癌 basaloid squamous cell carcinoma, ☐ 腺癌 adenocarcinoma, ☐ 腺扁平上皮癌 adenosquamous carcinoma, ☐ 粘表皮癌 mucoepidermoid carcinoma, ☐ 内分泌細胞癌 endocrine (neuroendocrine) cell carcinoma, ☐ 癌肉腫 carcinosarcoma, ☐ 顆粒細胞腫 granular cell tumor, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 消化管間質腫瘍 gastrointestinal stromal tumor (GIST), ☐ 平滑筋腫 leiomyoma, ☐ 平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, ☐ 神経鞘腫 schwannoma

☐ (2) 胃

<非腫瘍性疾患>

☐ 異所性膵 heterotopic pancreas, ☐ 胃粘膜下異所性胃腺 submucosal heterotopic glands of the stomach (gastritis cystica profunda), ☐ 急性胃炎 acute gastritis, ☐ アニサキス症 anisakiasis, ☐ 慢性胃炎 chronic gastritis, ☐ ヘリコバクター胃炎 Helicobacter pylori gastritis, ☐ A 型 (自己免疫性) 胃炎 type A (autoimmune) gastritis, ☐ 吻合部胃炎 stomal gastritis, ☐ 肥厚性胃炎 hypertrophic gastritis, ☐ 好酸球性胃炎 eosinophilic gastritis, ☐ コラーゲン胃炎 collagenous gastritis, ☐ 抗癌剤胃炎 chemotherapy-induced gastritis, ☐ 炎症性腸疾患 (特にクローン病 Crohn's disease), ☐ びらん erosion, ☐ 消化性潰瘍 peptic ulcer, ☐ アミロイドーシス amyloidosis, ☐ ランタン沈着症 lanthanosis, ☐ 過形成性ポリープ hyperplastic polyp, ☐ 胃底腺ポリープ fundic gland polyp, ☐ 炎症性線維性ポリープ inflammatory fibroid polyp, ☐ Cronkhite-Canada syndrome, ☐ Peutz-Jeghers 症候群と Peutz-Jeghers 型ポリープ Peutz-Jeghers-type polyp, ☐ 若年性ポリポーシス juvenile polyposis

<腫瘍性疾患>

☐ 腺腫 (腸型と胃型) adenoma, intestinal type and gastric type, ☐ 腺癌 adenocarcinoma, ☐ 早期癌 early carcinoma (定義, 内視鏡的適応を理解している), ☐ 進行癌 advanced carcinoma, ☐ 神経内分泌腫瘍 neuroendocrine tumor (NET G1-G3), ☐ 神経内分泌癌 neuroendocrine carcinoma, ☐ リンパ球浸潤癌 carcinoma with lymphoid stroma, ☐ 胎児消化管類似癌 adenocarcinoma with enteroblastic differentiation, ☐ 肝様腺癌 hepatoid adenocarcinoma, ☐ 胃底腺型腺癌 adenocarcinoma of fundic gland type, ☐ 腺扁平上皮癌 adenosquamous carcinoma, ☐ 転移性腫瘍, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma (特に MALT リンパ腫 MALT lymphoma とびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 diffuse large B-cell lymphoma), ☐ 消化管間質腫瘍 gastrointestinal stromal tumor (GIST), ☐ 平滑筋腫 leiomyoma, ☐ 平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, ☐ 神経鞘腫 schwannoma, ☐ 家族性大腸腺腫症 familial adenomatous polyposis の胃病変, ☐ 胃生検グループ分類 (Group 1-5)

□ (3) 十二指腸・空腸・回腸

<非腫瘍性疾患>

□メッケル憩室 Meckel's diverticulum, □異所性膵 heterotopic pancreas, □異所性胃粘膜 heterotopic gastric mucosa, □腸管嚢胞状気腫症 pneumatosis cystoides intestinalis, □十二指腸炎と十二指腸潰瘍 duodenitis, duodenal ulcer, □好酸球性腸炎 eosinophilic enteritis/colitis, □アミロイドーシス amyloidosis, □ランタン沈着症 lanthanosis, □ランブル鞭毛虫症 Giardiasis, □Whipple 病, □虚血性小腸炎 (狭窄) ischemic enteritis/stricture, □クローン病 Crohn's disease, □ベーチェット病 Behçet's disease と単純性潰瘍 simple ulcer, □エルシニア腸炎 Yersinia infection, □ブルンナー腺過形成 Brunner gland hyperplasia, □Peutz-Jeghers 症候群と Peutz-Jeghers 型ポリープ Peutz-Jeghers-type polyp, □炎症性線維性ポリープ inflammatory fibroid polyp,

<腫瘍性疾患>

□腺腫 adenoma, □ブルンナー腺腺腫 Brunner gland adenoma, □腺癌 adenocarcinoma (十二指腸は乳頭部と非乳頭部), □神経内分泌細胞腫瘍 neuroendocrine tumor (NET G1-G3), □転移性腫瘍 metastatic tumor, □神経節細胞傍神経節腫 gangliocytic paraganglioma, □悪性リンパ腫 malignant lymphoma, □消化管間質腫瘍 gastrointestinal stromal tumor GIST, □平滑筋腫 leiomyoma, □平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, □神経鞘腫 schwannoma

□ (4) 大腸・肛門

<非腫瘍性疾患>

□ヒルシュスプリング病 Hirschsprung disease, □憩室 (炎) diverticulum (diverticulitis), □粘膜脱症候群 mucosal prolapse syndrome (MPS), □腸管嚢胞状気腫症 pneumatosis cystoides intestinalis, □痔核 hemorrhoid, □虚血性腸炎 ischemic colitis, □薬剤性腸炎 drug-induced colitis, □偽膜性大腸炎 pseudomembranous colitis, □コラーゲン大腸炎 collagenous colitis, □リンパ球性大腸炎 lymphocytic colitis, □放射性腸炎 radiation-induced colitis, □好酸球性腸炎 eosinophilic enteritis/colitis, □潰瘍性大腸炎 ulcerative colitis, □クローン病 Crohn's disease, □腸結核 intestinal tuberculosis, □(細菌) 感染性腸炎 infectious colitis, □アメーバ性大腸炎 amebic colitis, □スピロヘータ症 intestinal spirochetosis, □ウイルス性大腸炎 viral colitis (特に CMV), □日本住血吸虫症 schistosomiasis japonica, □ベーチェット病 Behçet's disease と単純性潰瘍 simple ulcer, □アミロイドーシス amyloidosis, □腸管子宮内膜症 intestinal endometriosis, □移植片対宿主病 graft-versus-host disease (GVHD), □弾性線維性ポリープ elasto-fibromatous polyp, □過形成性ポリープ hyperplastic polyp, □若年性ポリープ juvenile polyp, □Cronkhite-Canada syndrome, □Peutz-Jeghers 症候群と Peutz-Jeghers 型ポリープ Peutz-Jeghers-type polyp

<腫瘍性疾患>

□腺腫 (管状, 管状・絨毛, 絨毛 adenoma (tubular, tubulovillous, villous), □腺腫内癌 carcinoma in adenoma, □鋸歯状腺腫 traditional serrated adenoma (TSA), □無茎性鋸歯状腺腫/ポリープ sessile serrated lesion (SSL), □炎症性線維状ポリープ inflammatory fibroid polyp, □colonic muco-submucosal elongated polyp, □虫垂粘液性腫瘍 low-grade appendiceal mucinous neoplasm, □杯細胞カルチノイド goblet cell carcinoid, □腺癌 adenocarcinoma, □神経内分泌細胞腫瘍 neuroendocrine tumor (NET G1-G3), □神経内分泌癌 neuroendocrine carcinoma, □転移性腫瘍, □家族性大腸腺腫症 familial adenomatous polyposis, □リンチ症候群 Lynch syndrome, □Cowden 症候群, □悪性リンパ腫 malignant lymphoma, □悪性黒色腫 malignant melanoma, □肛門部扁平上皮内腫瘍と癌 anal squamous intraepithelial neoplasia/squamous cell carcinoma, □尖圭コンジローマ condyloma acuminatum, □消化管間質腫瘍 gastrointestinal stromal tumor GIST, □平滑筋腫 leiomyoma, □平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, □神経鞘腫 schwannoma, □顆粒細胞腫 granular cell tumor

□ (5) その他 (腹腔内)

□腹膜遊離体 peritoneal loose body or peritoneal mouse, □腹膜偽粘液腫 pseudomyxoma peritonei, □腹膜中皮腫 mesothelioma, □軟部腫瘍 (□デスモイド線維腫症 desmoid fibromatosis, 線維形成性小円形細胞腫瘍 desmoplastic small round cell tumor, 脂肪肉腫 liposarcoma)

C. 膵臓

<非腫瘍性疾患>

☐ 急性・慢性膵炎 acute・chronic pancreatitis, ☐ 自己免疫性膵炎 (IgG4-関連疾患) autoimmune pancreatitis (IgG4-related disease), ☐ 膵脂肪置換 fatty replacement (lipomatosis) of the pancreas, ☐ 糖尿病 diabetes mellitus, ☐ 仮性嚢胞 pseudocyst

<腫瘍性疾患>

☐ 膵上皮内腫瘍性病変 pancreatic intraepithelial neoplasia (PanIN), ☐ 漿液性腫瘍 serous neoplasm (☐ 漿液性嚢胞腺腫 serous cystadenoma, ☐ 漿液性嚢胞腺癌 serous cystadenocarcinoma), ☐ 粘液性嚢胞腫瘍 mucinous cystic neoplasm (MCN) (☐ 粘液性嚢胞腺腫 mucinous cystadenoma, ☐ 粘液性嚢胞腺癌 mucinous cystadenocarcinoma), ☐ 膵管内乳頭粘液性腫瘍 intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN), ☐ 膵管内オンコサイト型乳頭状腫瘍 intraductal oncocytic papillary neoplasm (IOPN), ☐ 膵管内管状乳頭腫瘍 intraductal tubulopapillary neoplasm (ITPN), ☐ 浸潤性膵管癌 invasive ductal carcinoma, ☐ 腺房細胞癌 acinar cell carcinoma, ☐ 神経内分泌腫瘍 neuroendocrine neoplasm (NEN) (☐ 神経内分泌腫瘍 neuroendocrine tumor (NET), ☐ 神経内分泌癌 neuroendocrine carcinoma (NEC)), ☐ 混合腫瘍 mixed neoplasm/mixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm (MiNEN), ☐ 充実性偽乳頭腫瘍 solid-pseudopapillary neoplasm (SPN)

D. 肝・胆道

☐ (1) 肝

<非腫瘍性疾患>

☐ ウイルス肝炎 viral hepatitis (HAV, HBV, HCV), ☐ 劇症肝炎 fulminant hepatitis, ☐ 急性肝炎 acute hepatitis, ☐ 慢性肝炎 chronic hepatitis, ☐ 自己免疫性肝炎 autoimmune hepatitis (AIH), ☐ 脂肪性肝疾患 steatotic liver disease (SLD), ☐ 代謝機能障害関連脂肪性肝疾患 metabolic dysfunction associated steatotic liver disease (MASLD), ☐ 代謝機能障害関連脂肪肝炎 metabolic dysfunction associated steatohepatitis (MASH), ☐ アルコール関連肝疾患 alcohol associated (related) liver disease (ALD), ☐ 薬剤性肝障害 drug-induced liver injury, ☐ 原発性胆汁性胆管炎 primary biliary cholangitis (PBC), ☐ 原発性硬化性胆管炎 primary sclerosing cholangitis (PSC), ☐ 胆道閉塞 (肝外性, 肝内性), ☐ 遷延性胆管炎 cholangitis lenta, ☐ 急性細胞性拒絶 acute cellular rejection, ☐ 慢性拒絶 chronic rejection, ☐ 移植片対宿主病 graft-versus-host disease (GVHD), ☐ 胆道閉鎖症 biliary atresia, ☐ 新生児肝炎 neonatal hepatitis (巨細胞性肝炎 giant cell hepatitis), ☐ 肝アミロイドーシス amyloidosis, ☐ ヘモクロマトーシス hemochromatosis, ☐ ウイルソン病 Wilson disease, ☐ 糖原病 glycogen storage disease, ☐ 先天性肝線維症 congenital hepatic fibrosis, ☐ 多嚢胞肝 polycystic liver disease, ☐ カロリ病 Caroli disease, ☐ ニクズク肝 (慢性うっ血肝) nutmeg liver (chronic congestion of liver), ☐ 肝紫斑病 peliosis hepatis, ☐ 肝静脈閉塞疾患 venoocclusive disease (VOD)・類洞閉塞症候群 sinusoidal obstruction syndrome (SOS), ☐ Budd-Chiari 症候群 Budd-Chiari syndrome, ☐ Dubin-Johnson 症候群 Dubin-Johnson syndrome, ☐ 肝硬変症 liver cirrhosis, ☐ 胆汁性肝硬変 biliary cirrhosis, ☐ うっ血性肝硬変 congestive liver cirrhosis, ☐ 日本住血吸虫症 Schistosomiasis japonica, ☐ 結節性再生性過形成 nodular regenerative hyperplasia (NRH), ☐ 限局性結節性過形成 focal nodular hyperplasia (FNH)

<腫瘍性疾患>

☐ 肝細胞腺腫 hepatocellular adenoma, ☐ 異型結節 dysplastic nodule, ☐ 肝細胞癌 hepatocellular carcinoma, ☐ 早期肝細胞癌 early hepatocellular carcinoma, ☐ 肝芽腫 hepatoblastoma, ☐ 肝内胆管癌 intrahepatic cholangiocarcinoma, ☐ 混合型肝癌 combined hepatocellular and cholangiocarcinoma, ☐ 粘液性嚢胞性腫瘍 mucinous cystic neoplasm (MCN), ☐ 血管腫 hemangioma (☐ 海綿状血管腫 cavernous hemangioma), ☐ 類上皮性血管内皮腫 epithelioid hemangioendothelioma, ☐ 血管肉腫 angiosarcoma, ☐ 血管筋脂肪腫 angiomyolipoma, ☐ 胆管細胞腺腫 bile duct adenoma, ☐ 胆管性過誤腫 biliary hamartoma (microhamartoma, von Meyenburg complex), ☐ 転移性腫瘍

☐ (2) 胆道

☐ 先天性胆道閉鎖症 congenital biliary atresia, ☐ 先天性胆管拡張症 congenital bile duct dilatation, ☐ 膵胆管合流異常症 pancreaticobiliary maljunction, ☐ 胆嚢コレステロール症 (コレステリン沈着症) cholesterosis, ☐ コレステロールポリープ cholesterol polyp,

☐胆石症 cholelithiasis (gallstones), ☐慢性胆嚢炎 chronic cholecystitis, ☐急性胆嚢炎 acute cholecystitis, ☐黄色肉芽腫性胆嚢炎 xanthogranulomatous cholecystitis, ☐IgG4 関連硬化性胆管炎 IgG4-related sclerosing cholangitis, ☐胆嚢腺筋腫症 adenomyomatosis, ☐胆管上皮内腫瘍 biliary intraepithelial neoplasia, BilIN, ☐幽門腺腺腫 pyloric gland adenoma, ☐胆管内乳頭状腫瘍 intraductal papillary neoplasm of bile duct (IPNB), ☐胆嚢内乳頭状腫瘍 intracystic papillary neoplasm of gallbladder (ICPN), ☐胆道癌 carcinoma of the biliary tract (☐肝外胆管癌, ☐胆嚢癌, ☐乳頭部癌)

E. 呼吸器

☐ (1) 肺

<肺炎>

☐細菌性肺炎 bacterial pneumonia (☐気管支肺炎 bronchopneumonia, ☐大葉性肺炎 lobar pneumonia), ☐肺結核症 pulmonary tuberculosis (初期変化群 primary complex, 滲出型, 増殖型, 粟粒結核症 miliary tuberculosis, 結核腫 tuberculoma), ☐肺真菌感染 (☐アスペルギルス aspergillus, ☐カンジダ candida, ☐クリプトコッカス cryptococcus, ☐接合菌 (ムコール) mucor), ☐ニューモシスチス肺炎 pneumocystis jirovecii pneumonia, ☐巨細胞肺炎 giant cell pneumonia (麻疹肺炎 measles pneumonia), ☐巨細胞封入体性肺炎 (サイトメガロウイルス) cytomegalic inclusion body pneumonia, ☐びまん性汎細気管支炎 diffuse panbronchiolitis, ☐間質性肺炎 interstitial pneumonia (IP)・肺線維症 pulmonary fibrosis, ☐特発性間質性肺炎 idiopathic IP, ☐膠原病に合併した IP collagen disease-associated IP, ☐通常型間質性肺炎 usual interstitial pneumonia (UIP), ☐非特異性間質性肺炎 nonspecific interstitial pneumonia (NSIP), ☐器質化肺炎 organizing pneumonia (OP), ☐呼吸細気管支炎関連性間質性肺疾患 respiratory bronchiolitis-associated interstitial lung disease (RB-ILD), ☐剥離性間質性肺炎 desquamative interstitial pneumonia (DIP), ☐リンパ球性間質性肺炎 (lymphocytic interstitial pneumonia: LIP), ☐びまん性肺胞傷害 diffuse alveolar damage (DAD), ☐過敏性肺臓炎 hypersensitivity pneumonitis, ☐サルコイドーシス sarcoidosis

<循環障害など>

☐肺うっ血 pulmonary congestion, ☐肺浮腫 pulmonary edema, ☐肺動脈塞栓 pulmonary artery thrombosis, ☐肺梗塞 pulmonary infarction, ☐肺高血圧症 pulmonary hypertension, ☐塵肺症 pneumoconiosis: ☐石綿肺 asbestosis, ☐珪肺 silicosis, ☐無気肺 atelectasis, ☐円形無気肺 round atelectasis, ☐肺気腫 emphysema, ☐bullae, ☐blebs, ☐肺リンパ管筋腫症 lymphangiomyomatosis (LAM), ☐ランゲルハンス細胞組織球症 Langerhans cell histiocytosis ☐顕微鏡的多発血管炎 microscopic polyangiitis ☐多発血管炎性肉芽腫症 Granulomatosis with Polyangiitis (GPA), ☐肺胞蛋白症 pulmonary alveolar (lipo) proteinosis, ☐炎症性偽腫瘍 inflammatory pseudotumor

<腫瘍性疾患>

☐異型腺腫様過形成 atypical adenomatous hyperplasia (AAH), ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐腺癌 adenocarcinoma, ☐上皮内腺癌 (Adenocarcinoma in situ; AIS) ☐腺扁平上皮癌 adenosquamous carcinoma, ☐神経内分泌腫瘍 Neuroendocrine tumor (☐カルチノイド腫瘍 carcinoid tumor, ☐小細胞癌 small cell carcinoma, ☐大細胞神経内分泌癌 large cell neuroendocrine carcinoma), ☐大細胞癌 large cell carcinoma, ☐NUT (nuclear protein of the testis) 癌, ☐転移性肺癌 metastatic carcinoma (癌性リンパ管症), ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐肺芽腫 pulmonary blastoma, ☐肺過誤腫 pulmonary hamartoma, ☐硬化性肺胞上皮腫症 sclerosing pneumocytoma, ☐肺内リンパ節 intrapulmonary lymph node, ☐テューモレット tumorlet, ☐微小髄膜細胞様結節 minute pulmonary meningothelial-like nodule

☐ (2) 胸膜

☐胸膜炎 pleuritis (漿液性, 線維素性, 漿液線維素性, 線維性, 化膿性, 結核性), ☐孤立性線維性腫瘍 solitary fibrous tumor, ☐中皮腫 mesothelioma

☐ (3) 上気道

☐喉頭結節 (ポリープ) laryngeal nodule (polyp), ☐鼻茸 nasal polyp, ☐副鼻腔炎 sinusitis, ☐肥厚性鼻炎 hypertrophic rhinitis, ☐鼻・副鼻腔乳頭腫 sinonasal papilloma, ☐内反性乳頭腫 inverted papilloma, ☐鼻咽頭血管線維腫 nasopharyngeal angiofibroma

(sinonasal tract angiofibroma), ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐疣状癌 verrucous carcinoma, ☐未分化癌 undifferentiated carcinoma (リンパ上皮腫 lymphoepithelioma), ☐嗅神経芽細胞腫 olfactory neuroblastoma, ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma (☐節外性NK/T細胞リンパ腫, 鼻型 extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type), ☐悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐多発血管炎性肉芽腫症 Granulomatosis with Polyangitis (GPA)

F. 縦隔

☐気管支性嚢胞 bronchogenic cyst, ☐Castleman 病 Castleman disease, ☐胸腺腫 thymoma, ☐胸腺癌 thymic carcinoma, ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma (特に T リンパ芽球性 T lymphoblastic, 結節硬化型 Hodgkin リンパ腫 nodular sclerosis Hodgkin lymphoma, 原発性縦隔大細胞型 B 細胞リンパ腫 primary mediastinal large B cell lymphoma), ☐胚細胞性腫瘍 germ cell tumor

G. 心・血管

☐ (1) 心

☐心筋梗塞 myocardial infarction (☐急性心筋梗塞 acute myocardial infarction, ☐陳旧性心筋梗塞 old myocardial infarction), ☐拡張型心筋症 dilated cardiomyopathy (DCM), ☐肥大型心筋症 hypertrophic cardiomyopathy (HCM), ☐拘束性心筋症 restrictive cardiomyopathy (RCM), ☐不整脈源性右室心筋症 arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy (ARVC), ☐心サルコイドーシス cardiac sarcoidosis, ☐心アミロイドーシス cardiac amyloidosis, ☐心筋炎 myocarditis (☐急性心筋炎 acute myocarditis, ☐劇症型心筋炎 fulminant myocarditis) (☐リンパ球性心筋炎 lymphocytic myocarditis, ☐好酸球性 eosinophilic myocarditis, ☐巨細胞性心筋炎 giant cell myocarditis), ☐弁膜症 (☐リウマチ性弁膜症 rheumatic valvular disease, ☐動脈硬化・変性に伴う弁膜症), ☐感染性心内膜炎 infective endocarditis, ☐非細菌性血栓性心内膜炎 nonbacterial thrombotic endocarditis, ☐Libman-Sacks 心内膜炎 Libman-Sacks endocarditis, ☐急性心膜炎 acute pericarditis, ☐心タンポナーデ cardiac tamponade, ☐収縮性心膜炎 constrictive pericarditis, ☐先天性心疾患 (☐心房中隔欠損症 atrial septal defect, ☐心室中隔欠損症 ventricular septal defect, ☐Fallot 四徴症 tetralogy of Fallot など), ☐心内膜繊維弾性症 endocardial fibroelastosis, ☐ヘモクロマトーシス hemochromatosis, ☐Pompe 病 Pompe disease, ☐Fabry 病 Fabry disease, ☐乳頭状線維弾性腫 papillary fibroelastoma, ☐横紋筋腫 cardiac rhabdomyoma, ☐心臓粘液腫 cardiac myxoma

☐ (2) 血管

☐大型血管炎 (☐高安動脈炎 Takayasu arteritis, ☐巨細胞性動脈炎 giant cell arteritis), ☐中型血管炎 (☐結節性多発性動脈炎 polyarteritis nodosa, ☐川崎病 Kawasaki disease), ☐ANCA 関連血管炎 (☐顕微鏡的多発血管炎 microscopic polyangiitis, ☐多発血管炎性肉芽腫症 granulomatosis with polyangitis, ☐好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 eosinophilic granulomatosis with polyangiitis, ☐免疫複合体性小型血管炎 (☐IgA 血管炎 IgA vasculitis), ☐ベーチェット病 Behçet's disease, 全身性疾患関連血管炎 (☐膠原病関連血管炎, ☐サルコイド血管炎), ☐梅毒関連大動脈炎, ☐粥状硬化症 atherosclerosis, ☐メンケベルグ型中膜石灰化 Mönckeberg's arteriosclerosis, ☐大動脈解離 aortic dissection, ☐遺伝性中膜変性疾患 (☐Marfan 症候群), ☐炎症性大動脈瘤 inflammatory aortic aneurysm, ☐閉塞性動脈硬化症 arteriosclerosis obliterans, ☐閉塞性血栓血管炎 (Buerger 病) thromboangiitis obliterans, ☐線維筋性異形成 fibromuscular dysplasia, ☐静脈瘤 varicose vein, ☐血栓症 thrombosis, ☐深部静脈血栓症 deep vein thrombosis

H. リンパ・造血系

☐ (1) 骨髓

☐貧血 anemia (再生不良性 aplastic, 巨赤芽球性 megaloblastic), ☐膠様変性 gelatinous transformation/serous atrophy, ☐特発性血小板減少性紫斑病 idiopathic thrombocytopenic purpura, ☐血球貪食症候群 hemophagocytic syndrome, ☐慢性骨髓性白血病 chronic myeloid leukemia, ☐真性多血症 polycythemia vera, ☐本態性血小板血症 essential thrombocythemia, ☐原発性骨髓線維症 primary myelofibrosis, ☐骨髓異形成症候群 myelodysplastic syndrome (MDS), ☐急性骨髓性白血病 acute myeloid leukemia, ☐リンパ芽球性白血病/リンパ腫 (急性リンパ芽球性/リンパ性白血病) lymphoblastic

leukemia/lymphoma (acute lymphoblastic/lymphocytic leukemia), ☐慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫 chronic lymphocytic leukemia/small lymphocytic lymphoma, ☐リンパ形質細胞性リンパ腫 lymphoplasmacytic lymphoma, ☐形質細胞骨髄腫/多発性骨髄腫 plasma cell myeloma/multiple myeloma

☐ (2) リンパ節

<非腫瘍性疾患>

反応性濾胞過形成 reactive follicular hyperplasia, ☐洞組織球症 sinus histiocytosis, ☐皮膚病性リンパ節症 dermatopathic lymphadenopathy, ☐リウマチ性リンパ節症 rheumatoid lymphadenopathy, ☐組織球性壊死性リンパ節炎 (菊池病) subacute necrotizing lymphadenitis (Kikuchi-Fujimoto lymphadenitis), ☐トキソプラズマ性リンパ節炎 (Piringer-Kuchinka リンパ節炎) toxoplasmic lymphadenitis (Piringer-Kuchinka lymphadenitis), ☐木村病 Kimura disease, ☐サルコイドーシス sarcoidosis, ☐ネコひっかき病 cat scratch disease, ☐結核性リンパ節炎 tuberculous lymphadenitis

<腫瘍性疾患>

☐古典的ホジキンリンパ腫 classic Hodgkin lymphoma, ☐T細胞性リンパ腫 T-cell lymphoma (☐Tリンパ芽球性白血病/リンパ腫 T-lymphoblastic leukemia/lymphoma, ☐血管免疫芽球性T細胞リンパ腫 angioimmunoblastic T-cell lymphoma, ☐成人T細胞白血病/リンパ腫 adult T-cell leukemia/lymphoma, ☐末梢性T細胞リンパ腫・非特定型 Peripheral T-cell lymphoma, NOS, ☐未分化大細胞リンパ腫 [ALK陽性・陰性] anaplastic large cell lymphoma [ALK-positive・ALK-negative]), ☐B細胞性リンパ腫 (☐慢性リンパ性白血病/小リンパ球性リンパ腫 chronic lymphocytic leukemia/small lymphocytic lymphoma, ☐濾胞性リンパ腫 follicular lymphoma, ☐マントル細胞リンパ腫 mantle cell lymphoma, ☐びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 diffuse large B-cell lymphoma, ☐バーキットリンパ腫 Burkitt lymphoma, ☐血管内大細胞型B細胞リンパ腫 intravascular large B-cell lymphoma) ☐Rosai-Dorfman病 Rosai-Dorfman disease, ☐キャッスルマン病 Castleman disease (単中心性 unicentric・特発性多中心性 idiopathic multicentric・KSHV/HHV8関連 KSHV/HHV8-associated), ☐悪性腫瘍の転移 metastatic malignancies of lymph node

☐ (3) 脾

☐梗塞 infarction, ☐慢性うっ血 chronic congestion, ☐Gamna-Gandy結節 ☐Niemann-Pick病, ☐Gaucher病, ☐アミロイドーシス amyloidosis, ☐髄外造血 extramedullary hematopoiesis

☐ (4) 総論

☐リンパ球/形質細胞のクローナリティーの証明法を説明できる。
☐リンパ腫・白血病における主要な染色体転座, 遺伝子異常を説明できる。
☐リンパ球 (T, B, NK)、組織球の主要なマーカーを理解している。

I. 泌尿器

☐ (1) 膀胱・尿道・尿管・腎盂

☐尿路結石 urolithiasis, ☐急性膀胱炎 acute cystitis, ☐慢性膀胱炎 (☐Brunn巢 Brunn's nest, ☐嚢胞性膀胱炎 cystitis cystica, ☐腺性膀胱炎 cystitis glandularis), ☐好酸球性膀胱炎 eosinophilic cystitis, ☐マラコプラキア malakoplakia (Michaelis-Gutmann body), ☐腎原性腺腫 nephrogenic adenoma, ☐尿道カルンクル urethral caruncle, ☐尿路上皮乳頭腫 urothelial papilloma, ☐内反性乳頭腫 inverted papilloma, ☐尿路上皮癌 urothelial carcinoma (non-invasive/invasive, low grade/high grade), ☐上皮内癌 (urothelial carcinoma in situ, CIS), ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐BCG療法後の所見, ☐傍神経節腫 paraganglioma, ☐腺癌 adenocarcinoma, ☐尿膜管癌 urachal carcinoma

☐ (2) 腎臓

☐腎盂腎炎 pyelonephritis (急性, 慢性, 黄色肉芽腫性 xanthogranulomatous), ☐腎硬化症 nephrosclerosis (良性, 悪性), ☐血栓性微小血管症 thrombotic microangiopathy, ☐播種性血管内凝固症候群 disseminated intravascular coagulation, ☐急性腎障害 acute kidney injury, ☐両側腎皮質壊死 bilateral renal cortical necrosis, ☐腎梗塞 renal infarction, ☐アミロイド腎 renal amyloidosis, ☐IgG4関連腎臓病 IgG4-related disease, ☐サルコイドーシス sarcoidosis, ☐骨髄腫腎 myeloma kidney, ☐結節性動脈炎 polyarteritis nodosa, ☐痛風腎 gouty nephropathy, ☐腎乳頭壊死 renal papillary necrosis, ☐常染色体顕性多発性嚢胞腎 autosomal dominant polycystic kidney disease, ☐常染色体潜性多発性嚢胞腎

- autosomal recessive polycystic kidney disease, ☐ 終末腎 end-stage kidney
- <糸球体腎炎>
- ☐ 微小変化型ネフローゼ症候群 minimal change disease/ minimal change nephrotic syndrome, ☐ 巣状分節性糸球体硬化症 focal segmental glomerulosclerosis, ☐ IgA 腎症 IgA nephropathy, ☐ 膜性腎症 membranous nephropathy, ☐ 膜性増殖性糸球体腎炎 membranoproliferative glomerulonephritis, ☐ C3 腎症 C3 glomerulopathy, ☐ 管内増殖性糸球体腎炎 endocapillary proliferative glomerulonephritis, ☐ 感染関連腎炎 infection-related glomerulonephritis, ☐ 糖尿病性腎症 diabetic nephropathy, ☐ クリオグロブリン関連腎炎 cryoglobulinemic glomerulonephritis, ☐ ANCA 関連血管炎 ANCA-associated vasculitis, ☐ 抗糸球体基底膜抗体病 (抗 GBM 病) anti-GBM disease, ☐ IgA 血管炎 IgA vasculitis nephritis, ☐ アルポート症候群 Alport syndrome, ☐ Fabry 病 Fabry disease
- <膠原病 (結合織病) に伴う腎病変>
- ☐ ループス腎炎 lupus nephritis, ☐ 抗リン脂質抗体症候群 antiphospholipid antibody syndrome, ☐ シェーグレン症候群 Sjögren's syndrome, ☐ 強皮症腎 scleroderma
- <腫瘍性疾患>
- ☐ 乳頭状腺腫 papillary adenoma, ☐ 血管筋脂肪腫 angiomyolipoma, ☐ 類上皮性血管筋脂肪腫 epithelioid angiomyolipoma, ☐ 髄質線維腫 medullary fibroma (腎髄質間質細胞腫 renomedullary interstitial cell tumor), ☐ 傍糸球体細胞腫瘍 juxtaglomerular cell tumor, ☐ オンコサイトーマ oncocytoma, ☐ 淡明細胞型腎細胞癌 clear cell renal cell carcinoma, ☐ 嫌色素性腎細胞癌 chromophobe renal cell carcinoma, ☐ 乳頭状腎細胞癌 papillary renal cell carcinoma, ☐ 集合管癌 collecting duct carcinoma, ☐ MiT 転座型腎細胞癌 MiT translocation carcinoma, ☐ 粘液管状紡錘細胞癌 mucinous tubular and spindle cell carcinoma, ☐ 管状嚢胞性腎細胞癌 tubulocystic renal cell carcinoma, ☐ 遺伝性平滑筋腫症腎細胞癌症候群 随伴性腎細胞癌 hereditary leiomyomatosis renal cell carcinoma-associated renal cell carcinoma (フマル酸ヒドラターゼ欠損性腎細胞癌 fumarate hydratase-deficient renal cell carcinoma), ☐ コハク酸脱水素酵素欠損性腎細胞癌 succinate dehydrogenase-deficient renal cell carcinoma, ☐ 腎髄質癌 renal medullary carcinoma, ☐ 後天性嚢胞腎随伴性腎細胞癌 acquired cystic disease-associated renal cell carcinoma, ☐ 腎芽腫 nephroblastoma (Wilms 腫瘍 Wilms tumor), ☐ 先天性中腎性腎腫 congenital mesoblastic nephroma, ☐ 腎明細胞肉腫 clear cell sarcoma of the kidney, ☐ 悪性腎ラブドイド腫瘍 malignant rhabdoid tumor of the kidney

J. 内分泌

- ☐ (1) 下垂体
- ☐ クロック変性 Crooke hyaline changes, ☐ 下垂体腺腫 pituitary adenoma/下垂体神経内分泌腫瘍 pituitary neuroendocrine tumor (PitNET), ☐ 頭蓋咽頭腫 craniopharyngioma, ☐ ラトケ裂嚢胞 Rathke's cleft cyst, ☐ 自己免疫疾患 IgG4 関連を含む下垂体炎 inflammation of pituitary gland including autoimmune and IgG4 related inflammation
- ☐ (2) 甲状腺
- ☐ 橋本病 Hashimoto's disease, ☐ Graves' disease (Basedow 病), ☐ 亜急性甲状腺炎 subacute thyroiditis, ☐ 腺腫様 (結節性) 甲状腺腫 adenomatous (nodular) goiter, ☐ 濾胞腺腫 follicular adenoma, ☐ 硝子化索状腫瘍 hyalinizing trabecular tumor, ☐ 乳頭癌 papillary carcinoma, ☐ 濾胞型乳頭癌 follicular variant of papillary carcinoma, ☐ 濾胞癌 follicular carcinoma, ☐ 髄様癌 medullary carcinoma, ☐ 未分化癌 anaplastic carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 低分化癌 poorly differentiated carcinoma, ☐ 乳頭癌様核所見を伴う非浸潤性濾胞型腫瘍 NIFTP (non-invasive follicular thyroid neoplasm with papillary-like nuclear features)
- ☐ (3) 副甲状腺
- ☐ 過形成 hyperplasia, ☐ 腺腫 adenoma, ☐ 癌 carcinoma
- ☐ (4) 膵臓
- ☐ 糖尿病の際の Langerhans 島変化
- ☐ (5) 神経内分泌腫瘍 neuroendocrine neoplasms
- ☐ 神経内分泌腫瘍 (neuroendocrine tumors) : NET, G1; NET, G2; NET, G3 ☐ 神経内分泌癌 (neuroendocrine carcinoma) : large cell NEC, small cell NEC, ☐ MiNEN (mixed neuroendocrine neoplasm)

- ☐ (6) 副腎
 - ☐ 過形成 (びまん性, 結節性) adrenocortical hyperplasia (diffuse, nodular) ☐ 皮質腺腫 adrenocortical adenoma, ☐ 原発性アルドステロン症 primary aldosteronism, ☐ クッシング症候群 Cushing's syndrome, ☐ 副腎性器症候群 adrenogenital syndrome, ☐ 副腎皮質癌 adrenal cortical carcinoma, ☐ 副腎好酸性腫瘍 adrenocortical oncocytoma, ☐ 褐色細胞腫 pheochromocytoma (含, 傍神経節腫 paraganglioma), ☐ 神経芽腫 neuroblastoma, ☐ 神経節細胞腫 ganglioneuroma, ☐ 骨髄脂肪腫 myelolipoma, ☐ 色素性腺腫 (pigmented adrenocortical adenoma), ☐ PMAH/AIMAH (primary macronodular adrenocortical hyperplasia/ ACTH independent macronodular hyperplasia), ☐ PPNAD (primary pigmented nodular adrenocortical disease)
- ☐ (7) 非内分泌臓器
 - ☐ 気管支, 消化管, その他前腸, 中腸, 後腸由来の神経内分泌腫瘍の神経内分泌腫瘍 (neuroendocrine neoplasm).
- ☐ (8) その他
 - ☐ 多発性内分泌腫瘍 multiple endocrine neoplasia (MEN) I, II, III 型

K. 乳腺

<非腫瘍性疾患>

☐ 肉芽腫性乳腺炎 granulomatous mastitis, ☐ 粘液瘤様病変 mucocoele-like lesion, ☐ 乳腺線維症 fibrous disease, ☐ 女性化乳房 gynecomastia, ☐ 副乳 accessory breast, ☐ いわゆる乳腺症 So-called mastopathy/fibrocystic breast changes, ☐ 通常型乳管過形成 usual ductal hyperplasia, ☐ 小葉過形成 lobular hyperplasia, ☐ 閉塞性腺症 blunt duct adenosis, ☐ 開花期腺症 florid adenosis, ☐ 硬化性腺症 sclerosing adenosis, ☐ アポクリン化生 apocrine metaplasia, ☐ 放射状瘢痕・複雑型硬化性腺症 radial scar/complex sclerosing lesion, ☐ 微小腺管腺症 microglandular adenosis,

<腫瘍性疾患>

☐ 乳管内乳頭腫 intraductal papilloma, ☐ 乳管腺腫 ductal adenoma, ☐ 管状腺腫 tubular adenoma, ☐ 授乳性腺腫 lactating adenoma, ☐ 腺筋上皮腫 adenomyoepithelioma, ☐ 乳頭部腺腫 nipple adenoma, ☐ 平坦型上皮異型 flat epithelial atypia, ☐ 異型乳管過形成 atypical ductal hyperplasia, ☐ 異型小葉過形成 atypical lobular hyperplasia, ☐ 非浸潤性乳管癌 ductal carcinoma in situ, ☐ 非浸潤性小葉癌 lobular carcinoma in situ, ☐ 非浸潤性充実乳頭癌 solid papillary carcinoma in situ, ☐ 被包型乳頭癌 encapsulated papillary carcinoma, ☐ パジェット病 Paget disease, ☐ 微小浸潤癌 microinvasive carcinoma, ☐ 浸潤性乳管癌 invasive ductal carcinoma, ☐ 浸潤性小葉癌 invasive lobular carcinoma, ☐ 管状癌 tubular carcinoma, ☐ 粘液癌 mucinous carcinoma, ☐ 浸潤性充実乳頭癌 invasive solid papillary carcinoma, ☐ 浸潤性乳頭癌 invasive papillary carcinoma, ☐ 浸潤性微小乳頭癌 invasive micropapillary carcinoma, ☐ アポクリン癌 apocrine carcinoma, ☐ 化生癌 metaplastic carcinoma, ☐ 腺様嚢胞癌 adenoid cystic carcinoma, ☐ 分泌癌 secretory carcinoma, ☐ 線維腺腫 fibroadenoma, ☐ 葉状腫瘍 phyllodes tumor (benign, borderline, malignant), ☐ 筋線維芽細胞腫 myofibroblastoma, ☐ 顆粒細胞腫 granular cell tumor, ☐ 偽血管腫様過形成 pseudoangiomatous stromal hyperplasia, ☐ 血管肉腫 angiosarcoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 過誤腫 hamartoma, ☐ 転移癌 metastatic carcinoma

L. 女性生殖器

- ☐ (1) 外陰・膣
 - ☐ バルトリン腺嚢胞 Bartholin gland cyst, ☐ 線維上皮性ポリープ fibroepithelial polyp, ☐ 尖圭コンジローマ condyloma acuminatum, ☐ 扁平上皮内病変 squamous intraepithelial lesion, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 乳房外パジェット病 Extramammary Paget disease, ☐ 乳頭状汗腺腫 hidradenoma papilliferum, ☐ 侵襲性血管粘液腫 aggressive angiomyxoma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma
- ☐ (2) 子宮頸部
 - ☐ 扁平上皮化生 squamous metaplasia, ☐ 頸管炎 cervicitis (感染性と非感染性), ☐ 頸管ポリープ endocervical polyp, ☐ 微小腺管過形成 microglandular hyperplasia, ☐ ナボット嚢胞 nabothian cyst, ☐ トンネル・クラスター tunnel clusters, ☐ 微小腺管過形成 microglandular hyperplasia, ☐ 分葉状内頸部腺過形成 lobular endocervical glandular

hyperplasia (LEGH), ☐ 頸管内膜炎 endocervicosis, ☐ 尖圭コンジローマ condyloma acuminatum, ☐ 扁平上皮内病変・子宮頸部上皮内腫瘍 squamous intraepithelial lesion (SIL) /cervical intraepithelial neoplasia (CIN), ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma (HPV 関連と HPV 非依存性, 各種形態パターン), ☐ 上皮内腺癌 adenocarcinoma in situ (AIS), ☐ HPV 関連腺癌 adenocarcinoma, HPV-associated (通常と粘液型), ☐ 胃型 HPV 非依存性腺癌 adenocarcinoma, HPV-independent, gastric type ☐ 明細胞型 HPV 非依存性腺癌 adenocarcinoma, HPV-independent, clear cell type, ☐ 中腎型 HPV 非依存性腺癌 adenocarcinoma, HPV-independent, mesonephric type, ☐ 神経内分泌癌 neuroendocrine carcinoma

☐ (3) 子宮体部

☐ 子宮内膜日付診, ☐ アリアス・ステラ反応 Arias-Stella reaction, ☐ ホルモン異常に伴う子宮内膜変化, ☐ 子宮内膜炎 endometritis, ☐ 子宮腺筋症 adenomyosis, ☐ 子宮内膜症 endometriosis, ☐ 子宮内膜ポリープ endometrial polyp, ☐ 子宮内膜の化生
☐ 子宮内膜増殖症 endometrial hyperplasia without atypia, 子宮内膜異型増殖症 atypical endometrial hyperplasia, 類内膜上皮内腫瘍 endometrioid intraepithelial neoplasia (EIN), ☐ 類内膜癌 endometrioid carcinoma, ☐ 漿液性癌 serous carcinoma, ☐ 明細胞癌 clear cell carcinoma, ☐ 混合癌 mixed cell carcinoma, ☐ 未分化癌・脱分化癌 undifferentiated carcinoma/dedifferentiated carcinoma, ☐ 癌肉腫 carcinosarcoma, ☐ 中腎様腺癌 mesonephric-like adenocarcinoma, ☐ 神経内分泌癌 neuroendocrine carcinoma, ☐ 平滑筋腫 leiomyoma (各種亜型), ☐ 悪性度不明な平滑筋腫 smooth muscle tumor of unknown malignant potential (STUMP), ☐ 平滑筋肉腫 leiomyosarcoma (類上皮型と類粘液型), ☐ 低異型度子宮内膜間質肉腫 low-grade endometrial stromal sarcoma, ☐ 高異型度子宮内膜間質肉腫 high-grade endometrial stromal sarcoma, ☐ 未分化子宮肉腫 undifferentiated uterine sarcoma, ☐ アデノマトイド腫瘍 adenomatoid tumor, ☐ 腺筋腫 adenomyoma, ☐ 異型ポリープ状腺筋腫 atypical polypoid adenomyoma, ☐ 腺肉腫 adenosarcoma

☐ (4) 胎盤

☐ 正常胎盤, ☐ 多胎胎盤, ☐ 胎盤感染 (経膈感染と血行感染), ☐ 慢性絨毛炎 chronic villitis, ☐ 妊娠高血圧症候群に伴う胎盤変化, ☐ 常位胎盤早期剥離 placental abruption, ☐ 胎盤遺残, ☐ 癒着胎盤 placenta accreta/increta/percreta, ☐ 羊水塞栓症 amniotic fluid embolism, ☐ 流産 abortion, ☐ 胞状奇胎 (全,部分) hydatidiform mole (complete, partial), ☐ 侵入胞状奇胎 invasive hydatidiform mole, ☐ 絨毛癌 choriocarcinoma, ☐ 胎盤部栄養膜細胞腫瘍 placental site trophoblastic tumor (PSTT), ☐ 着床部結節 placental site nodule, ☐ 絨毛血管腫 chorangioma

☐ (5) 卵管

☐ 卵管炎 salpingitis, ☐ 卵管・卵巣膿瘍 tubo-ovarian abscess, ☐ 卵管妊娠 tubal pregnancy, ☐ 漿液性卵管上皮内癌 serous tubal intraepithelial carcinoma (STIC)

☐ (6) 卵巣

☐ 黄体嚢胞 corpus luteum cyst, ☐ 卵胞嚢胞 follicle cyst, ☐ 表層上皮封入嚢胞 surface epithelial inclusion cyst, ☐ 子宮内膜症性嚢胞 endometriotic cyst, ☐ 妊娠黄体腫 pregnancy luteoma, ☐ 間質過形成 stromal hyperplasia, ☐ 間質性莢膜細胞過形成 stromal hyperthecosis, ☐ 広汎性浮腫 massive edema, ☐ 漿液性嚢胞腺腫 serous cystadenoma, ☐ 漿液性腺線維腫 serous adenofibroma, ☐ 漿液性境界悪性腫瘍 serous borderline tumor (微小乳頭状・篩上漿液性境界悪性腫瘍 serous borderline tumor, micropapillary/cribiform), ☐ 低異型度漿液性癌 low-grade serous carcinoma, ☐ 高異型度漿液性癌 high-grade serous carcinoma, ☐ 粘液性嚢胞腺腫 mucinous cystadenoma, ☐ 粘液性境界悪性腫瘍 mucinous borderline tumor, ☐ 粘液性癌 mucinous carcinoma, ☐ 類内膜癌 endometrioid carcinoma, ☐ 明細胞癌 clear cell carcinoma, ☐ 漿液粘液性境界悪性腫瘍 seromucinous borderline tumor, ☐ ブレンナー腫瘍 Brenner tumor (良性, 境界悪性, 悪性), ☐ 線維腫 fibroma, ☐ 莢膜細胞腫 thecoma, ☐ 顆粒膜細胞腫 granulosa cell tumor (成人型 adult, 若年型 juvenile), ☐ セルトリ細胞腫 Sertoli cell tumor, ☐ 輪状細管を伴う性索腫瘍 sex cord tumor with annular tubules, ☐ セルトリ・ライデッヒ細胞腫 Sertoli-Leidig cell tumor, ☐ ギナンドロブラストーマ Gynandroblastoma, ☐ 成熟奇形腫 teratoma, ☐ 未熟奇形腫 immature teratoma, ☐ 奇形腫から発生する悪性腫瘍, ☐ 卵巣甲状腺腫 struma ovarii, ☐ 未分化胚細胞腫 dysgerminoma, ☐ 卵黄嚢腫瘍 yolk sac tumor, ☐ 胎芽性

癌 embryonal carcinoma, ☐ 非妊娠性絨毛癌 non-gestational choriocarcinoma, ☐ カルチノイド carcinoid, ☐ 性腺芽腫 gonadoblastoma, ☐ 高カルシウム血症型小細胞癌 small cell carcinoma, hypercalcemic type, ☐ 転移性腫瘍 (☐ Krukenberg 腫瘍)

M. 運動器

☐ (1) 骨

<非腫瘍性疾患>

☐ 急性化膿性骨髄炎 acute suppurative osteomyelitis, ☐ 慢性骨髄炎 chronic osteomyelitis, ☐ 結核性骨髄炎 tuberculous osteomyelitis, ☐ 骨折 bone fracture (仮骨 callus), ☐ 骨梗塞 bone infarction (無血管性壊死 avascular necrosis, 無腐性壊死 aseptic necrosis), ☐ 骨粗鬆症 osteoporosis, ☐ 骨軟化症 osteomalasia

<腫瘍性疾患>

☐ 爪下外骨腫 subungual exostosis, ☐ 骨軟骨腫 osteochondroma, ☐ 内軟骨腫 enchondroma, ☐ 軟骨粘液線維腫 chondromyxoid fibroma, ☐ 軟骨芽細胞腫 chondroblastoma, ☐ 軟骨肉腫 chondrosarcoma (G1-G3 / mesenchymal, clear cell, dedifferentiated), ☐ 類骨骨腫 osteoid osteoma, ☐ 骨芽細胞腫 osteoblastoma, ☐ 骨腫 osteoma, ☐ アダマンチノーマ adamantinoma, ☐ 通常型骨肉腫 conventional osteosarcoma, ☐ 傍骨性骨肉腫 parosteal osteosarcoma, ☐ 骨膜性骨肉腫 periosteal osteosarcoma, ☐ 骨巨細胞腫 giant cell tumor of bone, ☐ ユーイング肉腫 Ewing sarcoma, ☐ 脊索腫 chordoma, ☐ 骨血管腫 hemangioma of bone, ☐ 骨血管肉腫 angiosarcoma of bone, ☐ 孤立性骨嚢腫 solitary bone cyst, ☐ 動脈瘤性骨嚢腫 aneurysmal bone cyst, ☐ 線維性異形成 fibrous dysplasia, ☐ 褐色腫 brown tumor, ☐ ランゲルハンス細胞組織球症 Langerhans cell histiocytosis, ☐ 多発性骨髄腫 multiple myeloma, ☐ 転移性癌腫 metastatic cancer

☐ (2) 関節

☐ 関節リウマチ rheumatoid arthritis, ☐ リウマチ結節 rheumatoid nodule, ☐ 化膿性関節炎 suppurative arthritis, ☐ 結核性関節炎 tuberculous arthritis, ☐ 痛風性関節炎 gouty arthritis, ☐ 偽痛風 pseudogout/ピロリン酸カルシウム結晶沈着症 calcium pyrophosphate dehydrate (CPPD) crystal deposition disease, ☐ 腱滑膜巨細胞腫 tenosynovial giant cell tumor (色素性絨毛結節性滑膜炎 pigmented villonodular synovitis を含む), ☐ 腱滑膜炎 tendosynovitis (tenosynovitis), ☐ ガングリオン ganglion, ☐ ベーカー嚢胞 Baker's cyst, ☐ 関節遊離体 loose body, ☐ 滑膜(骨)軟骨腫症 synovial (osteo)chondromatosis

☐ (3) 軟部

☐ 異物肉芽腫 foreign body granuloma, ☐ 血管腫 hemangioma, ☐ 線維腫症 fibromatosis (palmar, plantar, desmoid type), ☐ 脂肪腫 lipoma, ☐ 血管脂肪腫 angiolipoma, ☐ 紡錘形細胞脂肪腫 spindle cell lipoma, ☐ 褐色脂肪腫 hibernoma, ☐ 神経鞘腫 schwannoma, ☐ 神経線維腫 neurofibroma, ☐ 神経線維腫症 neurofibromatosis, ☐ 神経周膜腫 perineurioma, ☐ 顆粒細胞腫 granular cell tumor, ☐ 平滑筋腫 leiomyoma, ☐ 深部良性線維性組織球腫 deep benign fibrous histiocytoma, ☐ 血管平滑筋腫 angioleiomyoma, ☐ 横紋筋腫 rhabdomyoma, ☐ 隆起性皮膚線維肉腫 dermatofibrosarcoma protuberans, ☐ 炎症性筋線維芽細胞性腫瘍 inflammatory myofibroblastic tumor, ☐ グロムス腫瘍 glomus tumor, ☐ リンパ管腫 lymphangioma, ☐ 孤立性線維性腫瘍 solitary fibrous tumor, ☐ 結節性筋膜炎 nodular fasciitis, ☐ 増殖性筋炎 proliferative myositis, ☐ 骨化性筋炎 myositis ossificans, ☐ 虚血性筋膜炎 ischemic fasciitis, ☐ 弾性線維腫 elastofibroma, ☐ 粘液腫 myxoma, ☐ 筋上皮腫 myoepithelioma, ☐ 血管周囲類上皮細胞腫瘍 perivascular epithelioid cell tumor (PEComa), ☐ 腱滑膜巨細胞腫 tenosynovial giant cell tumor, ☐ 粘液線維肉腫 myxofibrosarcoma, ☐ 脂肪肉腫 liposarcoma (well, dedifferentiated, myxoid, pleomorphic), ☐ 横紋筋肉腫 rhabdomyosarcoma (embryonal, alveolar), ☐ 平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, ☐ 滑膜肉腫 synovial sarcoma, ☐ 類上皮血管内皮腫 epithelioid hemangioendothelioma, ☐ 血管肉腫 angiosarcoma, ☐ カボジ肉腫 Kaposi sarcoma, ☐ 胞巣状軟部肉腫 alveolar soft part sarcoma, ☐ 類上皮肉腫 epithelioid sarcoma, ☐ ユーイング肉腫 Ewing sarcoma, ☐ 骨外性粘液型軟骨肉腫 extraskeletal myxoid chondrosarcoma, ☐ 淡明細胞肉腫 clear cell sarcoma, ☐ 悪性末梢神経鞘腫瘍 malignant peripheral nerve sheath tumor, ☐ 線維形成性小円形細胞性腫瘍 desmoplastic small round

- cell tumor
- (4) 骨格筋
- 神経原性筋萎縮 neurogenic muscular atrophy, □ 進行性筋ジストロフィー progressive muscular dystrophy, □ 多発性筋炎 polymyositis, □ 好酸球性筋炎 eosinophilic myositis

N. 皮膚

<発疹学>：臨床皮膚科学で用いられる下記の用語の説明ができる。

□ 紅斑 erythema, □ 紫斑 purpura, □ 色素斑 pigmented macule, □ 白斑 leukoderma, □ 丘疹 papule, □ 結節 nodule, □ 腫瘤 tumor, □ 水疱 blister (bulla), □ 膿疱 pustule, □ 嚢腫 cyst, □ 膨疹 wheal, □ 表皮剥離 excoriation, □ びらん erosion, □ 潰瘍 ulcer, □ 瘢痕 scar, □ 亀裂 fissure, □ 鱗屑 scale, □ 痂皮 crust, □ 局面 plaque, □ 苔癬 lichen, □ 苔癬化 lichenification, □ 網状皮斑 livedo, □ 紅皮症 erythroderma, □ 魚鱗癬 ichthyosis, □ 瘡瘡 acne, □ 粧糠疹 pityriasis

<皮膚病理学用語>皮膚病理学で用いられる下記の用語が説明できる。

□ 角質増生（過角化） hyperkeratosis, □ 表皮肥厚 acanthosis, □ 錯角化 parakeratosis, □ 異角化 dyskeratosis, □ 棘融解 acantholysis, □ 海綿状態 spongiosis, □ 表皮内侵入 exocytosis, □ 空胞（液状）変性 vacuolar (liquefaction) degeneration, □ シバット小体 Civatte body, □ ムチノーシス mucinosis, □ ピンク・ブルーサイン pink and blue sign, □ 鶏眼様層板 cornoid lamella, □ ムンロー微小膿瘍 Munro's microabscess, □ ポートリエ微小膿瘍 Pautrier's microabscess, □ コゴイ海綿状膿疱 Kogoj's spongiotic abscess

<炎症性疾患>パターン分類

□ 海綿状パターン spongiotic pattern：□ 接触性皮膚炎 contact dermatitis, □ 乾癬様パターン psoriasiform pattern：□ 尋常性乾癬 psoriasis vulgaris, □ 膿疱性乾癬 pustular psoriasis

□ 結合境界パターン interface pattern：□ 全身性エリテマトーデス systemic lupus erythematosus, □ 慢性円板状エリテマトーデス discoid lupus erythematosus, □ 皮膚筋炎 dermatomyositis, □ 移植片対宿主病 graft-versus-host disease (GVHD), □ 硬化性萎縮性苔癬 lichen sclerosus et atrophicus, □ 慢性単純性苔癬（ヴィダール苔癬） lichen simplex chronicus, □ 扁平苔癬 lichen planus

□ 水疱性パターン vesiculo-bullous pattern：尋常性天疱瘡 pemphigus vulgaris, □ 落葉状天疱瘡 pemphigus foliaceus, □ 水疱性類天疱瘡 bullous pemphigoid

□ 血管周囲性パターン perivascular pattern：□ 多形紅斑 erythema multiforme, □ 薬疹 drug eruption

□ 結節性・びまん性パターン nodular/diffuse pattern：□ スイート病 Sweet's disease, □ 壊疽性膿皮症 pyoderma gangrenosum, □ 環状肉芽腫 granuloma annulare, □ サルコイドーシス sarcoidosis, □ リポイド類壊死症（類脂肪壊死症） necrobiosis lipidica, □ リウマチ様結節 rheumatoid nodule, □ 皮膚結核 tuberculosis cutis, □ 非結核性抗酸菌症 nontuberculous mycobacteriosis

□ 線維状パターン fibrosing pattern：□ 強皮症 scleroderma

□ 血管症性パターン vasculopathic pattern：□ IgA 血管炎 IgA vasculitis（□ アナフィラクトイド紫斑 anaphylactoid purpura, □ 白血球破砕性血管炎 leukocytoclastic vasculitis）, □ 結節性多発動脈炎 polyarteritis nodosa, □ 血栓性静脈炎 thrombophlebitis

□ 付属器傷害性パターン：□ 尋常性座瘡 acne vulgaris □ 脂肪織炎～筋膜炎 panniculitis～fasciitis：□ 結節性紅斑 erythema nodosum, □ 硬結性紅斑 erythema induratum, □ 壊死性筋膜炎 necrotizing fasciitis

□ 沈着症 storage disease：□ 皮膚アミロイドーシス cutaneous amyloidosis, □ アミロイド苔癬 lichen amyloidosis, □ 斑状アミロイドーシス macular amyloidosis, □ 弾力線維性仮性黄色腫 pseudoxanthoma elasticum

<感染症>

□ 癰（せつ） furuncle, □ 癰（よう） carbuncle, □ 梅毒 syphilis, □ 単純疱疹 herpes simplex, □ 伝染性軟属腫 molluscum contagiosum, □ 尋常性疣贅 verruca vulgaris, □ 尖圭コンジローマ condyloma acuminatum, □ 白癬 tinea（皮膚糸状菌 dermatophyte）, □ 皮膚カンジダ症 cutaneous candidiasis, □ クリプトコッカス症 cryptococcosis, □ 放線菌症 actinomycosis, □ スポロトリコーシス sporotrichosis, □ クロモミコーシス chromomycosis, □ マダニ刺症 ixodiasis

<表皮系腫瘍>

☐表皮母斑 epidermal nevus, ☐脂漏性角化症 seborrheic keratosis, ☐ケラトアカントーマ keratoacanthoma, ☐日光角化症 actinic keratosis, ☐ボーエン病 Bowen's disease, ☐扁平上皮癌(有棘細胞癌) squamous cell carcinoma, ☐疣状癌 verrucous carcinoma, ☐基底細胞癌 basal cell carcinoma, ☐メルケル細胞癌 Merkel cell carcinoma, ☐表皮嚢腫 epidermal cyst

<付属器系腫瘍>

☐毛包上皮腫 trichoepithelioma, ☐毛芽腫 trichoblastoma, ☐毛包腫 trichofolliculoma, ☐外毛根鞘腫 trichilemmoma, ☐毛母腫 pilomatricoma (☐石灰化上皮腫 calcifying epithelioma), ☐外毛根鞘嚢腫 trichilemmal cyst, ☐増殖性外毛根鞘性腫瘍 proliferating trichilemmal tumor
☐脂腺増殖症 sebaceous hyperplasia, ☐脂腺腺腫 sebaceous adenoma, ☐脂腺腫 sebaceoma, ☐脂腺癌 sebaceous carcinoma, ☐多発性脂腺嚢腫 steatocystoma multiplex, ☐脂腺母斑 nevus sebaceus
☐汗嚢腫 hidrocystoma, ☐汗孔腫 poroma, ☐汗管腫 syringoma, ☐らせん腺腫 spiradenoma, ☐円柱腫 cylindroma, ☐汗腺腫 hidradenoma, ☐皮膚混合腫瘍(軟骨様汗管腫) mixed tumor of the skin (chondroid syringoma), ☐乳頭状汗管嚢胞腺腫 syringocystadenoma papilliferum, ☐乳房外パジェット病 extramammary Paget disease, ☐汗孔癌 porocarcinoma, ☐微小嚢胞性付属器癌 microcystic adnexal carcinoma

<メラノサイト系腫瘍>

☐色素細胞性母斑 melanocytic nevus (=母斑細胞母斑 nevocellular nevus), ☐青色母斑 blue nevus, ☐単純黒子 lentigo simplex, ☐スピッツ母斑 Spitz's nevus, ☐悪性黒色腫 malignant melanoma

<間葉系腫瘍>

☐肥厚性癬痕 hypertrophic scar, ☐ケロイド keloid, ☐黄色腫 xanthoma, ☐疣贅状黄色腫 verruciform xanthoma, ☐若年性黄色肉芽腫 juvenile xanthogranuloma, ☐皮膚線維腫 dermatofibroma, ☐隆起性皮膚線維肉腫 dermatofibrosarcoma protuberans (DFSP), ☐結節性筋膜炎 nodular fasciitis
☐脂肪腫 lipoma, ☐表在性皮膚脂肪腫性母斑 nevus lipomatosus superficialis, ☐血管脂肪腫 angiolipoma
☐血管腫・血管奇形 hemangioma/vascular malformation, ☐被角血管腫 angiokeratoma, ☐皮膚血管肉腫 cutaneous angiosarcoma
☐神経線維腫 neurofibroma, ☐神経鞘腫 schwannoma
☐副耳 accessory ear

<リンパ球・組織球・造血系腫瘍>

☐皮膚リンパ球腫 lymphocytoma cutis, ☐偽リンパ腫性毛包炎 pseudolymphomatous folliculitis, ☐ランゲルハンス細胞組織球症 Langerhans cell histiocytosis, ☐肥満細胞症 mastocytosis (☐色素性蕁麻疹 urticaria pigmentosa), ☐皮膚B細胞リンパ腫(☐原発性皮膚辺縁帯リンパ腫, ☐原発性皮膚濾胞中心リンパ腫, ☐原発性皮膚びまん性大細胞型リンパ腫, 下肢型 primary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma, leg type), ☐皮膚T細胞リンパ腫(☐菌状息肉症 mycosis fungoides, ☐Sézary 症候群 Sézary syndrome, ☐皮膚原発 CD30 陽性リンパ増殖症 primary cutaneous CD30+ T-cell lymphoproliferative disorder, ☐皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫 Subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma)

O. 神経系

<先天異常>

☐神経管閉鎖障害 neural tube closure defect (☐二分脊椎 spina bifida, ☐髄膜瘤 meningocele, ☐髄膜脊髄瘤 meningocele, ☐無脳症 anencephaly), ☐キアリ奇形 Chiari malformation, ☐全前脳胞症 holoprosencephaly

<脳血管障害>

☐脳梗塞 brain infarction, ☐脳内出血 intracerebral hemorrhage, ☐クモ膜下出血 subarachnoid hemorrhage, ☐低酸素・虚血性脳損傷 hypoxic/ischemic brain injury, ☐脳動脈瘤 cerebral aneurysm, ☐脳動静脈奇形 cerebral arteriovenous malformation, ☐アミロイド血管症 amyloid angiopathy, ☐脳ヘルニア cerebral herniation

<頭部外傷>

- ☐ 脳挫傷 brain contusion, ☐ 硬膜外血腫 epidural hematoma, ☐ 硬膜下血腫 subdural hematoma, ☐ びまん性軸索損傷 diffuse axonal injury
- < 感染性疾患 >
 - ☐ 脳炎 encephalitis, ☐ 脳症 encephalopathy, ☐ 脊髄炎 myelitis, ☐ 髄膜炎 meningitis
 - ☐ 単純ヘルペスウイルス脳炎 herpes simplex encephalitis, ☐ サイトメガロウイルス感染症 cytomegalovirus infection, ☐ ヒト免疫不全ウイルス脳症 human immunodeficiency virus encephalopathy, ☐ 急性灰白質脊髄炎 acute poliomyelitis, ☐ 狂犬病 rabies, ☐ 進行性多巣性白質脳症 progressive multifocal leukoencephalopathy, ☐ 細菌性髄膜炎 bacterial meningitis, ☐ 脳膿瘍 brain abscess, ☐ クリプトコッカス症 cryptococcosis, ☐ トキソプラズマ症 toxoplasmosis
- < プリオン病 >
 - ☐ クロイツフェルト・ヤコブ病 Creutzfeldt-Jakob disease
- < 脱髄性疾患 >
 - ☐ 多発性硬化症 multiple sclerosis, ☐ 視神経脊髄炎 neuromyelitis optica
- < 変性疾患 >
 - ☐ アルツハイマー病 Alzheimer's disease (神経原線維変化 neurofibrillary tangle, 老人斑 senile plaque, 蓄積蛋白: タウ蛋白 tau protein, β アミロイド β amyloid), ☐ パーキンソン病 Parkinson's disease (レビー小体 Lewy body, 蓄積蛋白: α シヌクレイン α -synuclein), ☐ 筋萎縮性側索硬化症 amyotrophic lateral sclerosis (特徴的構造物 ブニナ小体 Bunina body, 蓄積蛋白: TDP-43) ☐ 多系統萎縮症 multiple system atrophy (グリア細胞質封入体 glial cytoplasmic inclusion, 蓄積蛋白: α シヌクレイン α -synuclein) ☐ 脊髄小脳失調症 spinocerebellar atrophy (蓄積蛋白: ポリグルタミン) ☐ 前頭側頭葉変性症 frontotemporal lobar degeneration (蓄積蛋白: TDP-43) 注) ピック病 (蓄積蛋白 タウ蛋白 tau protein)
- < 中毒・代謝異常 >
 - ☐ 放射線壊死 radiation necrosis, ☐ ウェルニッケ脳症 Wernick encephalopathy, ☐ 一酸化炭素中毒 carbon monoxide poisoning
- < 末梢神経疾患 >
 - ☐ ギラン・バレー症候群 Guillain-Barré syndrome, ☐ 遺伝性ポリニューロパチー hereditary polyneuropathy
- < 腫瘍性疾患 >
 - ☐ 星細胞腫, IDH 変異 astrocytoma, IDH-mutant, ☐ 乏突起膠腫, IDH 変異および 1p/19q 共欠失 oligodendroglioma, IDH-mutant and 1p/19q-codeleted, ☐ 膠芽腫, IDH 野生型 glioblastoma, IDH-wildtype, ☐ びまん性正中膠腫, H3 K27 異状 diffuse midline glioma, H3 K27-altered, ☐ 毛様細胞性星細胞腫 pilocytic astrocytoma, ☐ 多形黄色星細胞腫 pleomorphic xanthoastrocytoma, ☐ 上衣下巨細胞性星細胞腫 subependymal giant cell astrocytoma, ☐ 上衣腫 ependymoma, ☐ 粘液乳頭状上衣腫 myxopapillary ependymoma, ☐ 脈絡叢乳頭腫 choroid plexus papilloma, ☐ 中枢性神経細胞腫 central neurocytoma, ☐ 胚芽異形成性神経上皮腫瘍 dysembryoplastic neuroepithelial tumor, ☐ 神経節細胞腫・神経節膠腫 gangliocytoma/ganglioglioma, ☐ 髄芽腫 medulloblastoma, ☐ 非定型奇形腫様ラブドイド腫瘍 atypical teratoid/rhabdoid tumor, ☐ 松果体細胞腫 pineocytoma, ☐ 髄膜腫 meningioma, ☐ 血管芽腫 hemangioblastoma, ☐ 孤立性線維性腫瘍 solitary fibrous tumor, ☐ シュワン細胞腫 (神経鞘腫) schwannoma, ☐ 神経線維腫 neurofibroma, ☐ 胚腫 germinoma, ☐ 頭蓋咽頭腫 craniopharyngioma, ☐ ラトケ嚢胞 Rathke's cleft cyst, ☐ 中枢神経系原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫 primary diffuse large B-cell lymphoma of the CNS

P. 感覚器

- ☐ (1) 眼
 - ☐ デルモイド dermoid (☐ 輪部デルモイド limbal dermoid, ☐ 皮様嚢腫 dermoid cyst), ☐ 霰粒腫 chalazion, ☐ 麦粒腫 hordeolum, ☐ 翼状片 pterygium, ☐ 水疱性角膜症 bullous keratopathy, ☐ ヘルペス角膜炎 herpetic keratitis, ☐ 涙腺炎 dacryoadenitis (☐ IgG4 関連涙腺炎 IgG4-related dacryoadenitis), ☐ 網膜芽細胞腫 retinoblastoma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 脂腺癌 sebaceous carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma
- ☐ (2) 耳

☐ 先天性耳前瘻孔 congenital preauricular fistula, ☐ 耳介結節性軟骨皮膚炎 chondrodermatitis nodularis helices, ☐ 再発性多発性軟骨炎 relapsing polychondritis, ☐ 耳垢腺腫 ceruminal adenoma, ☐ 耳垢腺癌 ceruminal adenocarcinoma, ☐ 中耳炎 otitis media, ☐ 真珠腫 cholesteatoma, ☐ 中耳腺腫 middle ear adenoma, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma

Q. 男性生殖器

☐ (1) 前立腺

☐ 前立腺炎 prostatitis (☐ 肉芽腫性前立腺炎 granulomatous prostatitis), ☐ 結節性過形成 nodular hyperplasia, ☐ 腺症 adenosis, ☐ 高グレード前立腺上皮内腫瘍 high-grade prostatic intraepithelial neoplasia (HGPIN), ☐ 導管内癌 intraductal carcinoma of the prostate (IDC-P), ☐ 前立腺腺癌 prostatic adenocarcinoma, ☐ 腺房 (通常型) 腺癌 acinar adenocarcinoma, ☐ 導管腺癌 ductal adenocarcinoma, Gleason 分類, ☐ 治療関連前立腺神経内分泌癌 treatment-related neuroendocrine prostatic carcinoma (t-NEPC)

☐ (2) 精巣, 精巣上体

☐ 停留精巣 cryptorchism, ☐ 化膿性精巣・精巣上体炎 suppurative epididymo-orchitis, ☐ 結核性精巣上体炎 tuberculous epididymitis, ☐ 肉芽腫性精巣炎 granulomatous orchitis, ☐ 精子肉芽腫 sperm granuloma

<腫瘍性疾患>

☐ Germ cell neoplasia in situ (GCNIS), ☐ 胎児性癌 embryonal carcinoma, ☐ 奇形腫, 思春期後型 teratoma, postpubertal type, ☐ 絨毛癌 choriocarcinoma, ☐ 卵黄囊腫瘍, 思春期後型 yolk sac tumor, postpubertal type, ☐ 精上皮腫 (セミノーマ) seminoma, ☐ 混合型胚細胞腫瘍 mixed germ cell tumor, ☐ 体細胞型悪性腫瘍を伴う奇形腫 teratoma with somatic-type malignancy, ☐ 奇形腫, 思春期前型 teratoma, prepubertal type, ☐ 卵黄囊腫瘍, 思春期前型 yolk sac tumor, prepubertal type, ☐ 精母細胞性腫瘍 spermatocytic tumor, ☐ ライディッシュ細胞腫 Leydig cell tumor, ☐ セルトリ細胞腫 Sertoli cell tumor, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 腺腫様腫瘍 adenomatoid tumor, ☐ 中皮腫 mesothelioma

☐ (3) 陰茎

☐ 梅毒 syphilis, ☐ 軟性下疳 soft chancre, ☐ 陰部ヘルペス genital herpes simplex virus infection, ☐ 尖圭コンジローマ condyloma acuminatum, ☐ 陰茎上皮内腫瘍 penile intraepithelial neoplasia (PeIN), ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 乳房外 Paget 病 extramammary Paget's disease

R. 小児病理

☐ 早期産 preterm delivery, ☐ 過期産 post-term delivery, ☐ 分娩損傷 birth injury, ☐ 低出生体重児 low birth weight infant, ☐ ダウン症候群その他の染色体異常 Down syndrome and other chromosome abnormalities, ☐ 胎児水腫 hydrops fetalis, ☐ 先天性貧血 congenital anemia, ☐ 新生児溶血性疾患 hemolytic disease of the newborn, ☐ 羊水過少 oligohydramnios, ☐ 気管食道瘻 tracheo-esophageal fistula, ☐ 肥厚性幽門狭窄症 hypertrophic pyloric stenosis, ☐ 腸回転異常症 intestinal malrotation, ☐ 胎便性腸閉塞症 meconium ileus, ☐ 腸重積症 intussusception, ☐ ヒルシュスプルング病 Hirschsprung disease, ☐ 胆道閉鎖症 biliary atresia, ☐ 先天性胆道拡張症 congenital dilatation of the bile ducts, ☐ 新生児肝炎 neonatal hepatitis, ☐ 胎便吸引症候群 meconium aspiration syndrome, ☐ 呼吸窮迫症候群 (肺硝子膜症) respiratory distress syndrome (hyaline membrane disease), ☐ 気管支肺異形成 bronchopulmonary dysplasia, ☐ 先天性肺気道形成異常 congenital pulmonary airway malformation, ☐ 肺分画症 pulmonary sequestration, ☐ 髄芽腫 medulloblastoma, ☐ 網膜芽腫 retinoblastoma, ☐ 神経芽腫 neuroblastoma, ☐ 肝芽腫 hepatoblastoma, ☐ 腎芽腫 (Wilms 腫瘍) nephroblastoma (Wilms tumor)
(総論・各論の小児好発疾患も参照)

S. 細胞診

☐ (1) 総論

☐ 細胞診の目的や適応を説明できる。
☐ 採取法・塗抹法を含めた基本的な標本作成法 (擦過, 穿刺吸引, 集細胞法, 液状細胞診, セルブロック など) および領域毎の特性に応じた標準的標本作成法を説明

- できる。
- ☐ 染色応じた検体の固定法を説明できる（湿固定 wet fixation, 乾燥固定 dry fixation）。
 - ☐ 主な染色の原理、適応を説明できる（☐Papanicolaou 染色, ☐Giemsa 染色 など）。
 - ☐ 標本の適否を判断できる。
 - ☐ 領域毎の標準的な報告様式を説明でき、報告様式に則した判定ができる。
 - ☐ 術中迅速細胞診の適用や限界を説明でき、実際の判定ができる。
- ☐ (2) 婦人科
 - ☐ ホルモンの影響（性周期による細胞変化）、☐ 妊娠 pregnancy および流産 abortion, ☐ エクソダス exodus, ☐ 炎症（クラミジア chlamydia, トリコモナス trichomonad, 真菌 fungus, clue cell）、☐ 変性および再生、☐ 老人性陰炎 senile vaginitis, ☐ 日本母性保護産婦人科医会の分類（日母分類）（Papanicolaou 分類）クラス I-V, ☐ ベセスダ方式（The Bethesda system : TBS）（ベセスダ分類（1）NILM, LSIL, HSIL, SCC, ベセスダ分類（2）ASC-US, ASC-H, ベセスダ分類（3）NILM, AGC, AIS, adenocarcinoma）、☐ 頸部上皮内腫瘍 cervical intraepithelial neoplasia 1, 2, 3 (CIN 1, 2, 3), 異形成 (dysplasia) ; 軽度 (mild), 中等度 (moderate), 高度 (severe), 扁平上皮内癌 (CIS), 核異常 (dyskaryosis), ☐ 頸部腺癌 cervical adenocarcinoma, ☐ 内膜癌 endometrial cancer, ☐ 癌肉腫 carcinosarcoma, ☐ 内膜増殖症 endometrial hyperplasia, ☐ 放射線による細胞の変化 radiation-induced cellular change, ☐ 頸部扁平上皮癌 cervical squamous cell carcinoma
 - ☐ (3) 呼吸器
 - ☐ 扁平上皮化生細胞 squamous metaplastic cell, ☐ 異型化生細胞 atypical metaplastic cell, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 腺癌 adenocarcinoma, ☐ 小細胞癌 small cell carcinoma, ☐ 大細胞癌 large cell carcinoma, ☐ 大細胞神経内分泌癌 large cell neuroendocrine carcinoma, ☐ アスベスト小体 asbestos body, ☐ 感染症（カンジダ candida, アスペルギルス aspergillus, ニューモシスチス・イロベチイ pneumocystis jirovecii, サイトメガロウイルス cytomegalovirus など）
 - ☐ (4) 消化器
 - ☐ ランブル鞭毛虫 giardia lamblia, ☐ 炎症性変化 inflammatory change（胆管・膵管上皮の反応性変化 reactive change of the biliary and pancreatic duct）、☐ 腺癌 adenocarcinoma
 - ☐ (5) 泌尿器
 - ☐ 尿路上皮癌 urothelial carcinoma, ☐ 腺癌 adenocarcinoma, ☐ ウイルス感染細胞 virus-infected cell, ☐ 尿路上皮の反応性変化 reactive change of the urothelial epithelium
 - ☐ (6) 乳腺
 - ☐ 乳管内乳頭腫 intraductal papilloma, ☐ 嚢胞 cyst, ☐ アポクリン化生 apocrine metaplasia, ☐ 線維腺腫 fibroadenoma, ☐ 葉状腫瘍 phyllodes tumor, ☐ 乳管癌 ductal carcinoma, ☐ 小葉癌 lobular carcinoma, ☐ 非上皮性悪性腫瘍 non-epithelial malignant tumor
 - ☐ (7) 胸腹水
 - ☐ 反応性中皮細胞 reactive mesothelial cell, ☐ 腺癌 adenocarcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 中皮腫 mesothelioma
 - ☐ (8) 甲状腺
 - ☐ 腺腫様甲状腺腫 adenomatous goiter, ☐ 核内細胞質封入体 intranuclear cytoplasmic inclusion と乳頭癌 papillary carcinoma, ☐ 橋本病 Hashimoto's disease, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 濾胞性腫瘍 follicular tumor, ☐ 髄様癌 medullary carcinoma, ☐ 未分化癌 undifferentiated carcinoma

T. 診断技術

- ☐ (1) HE 染色・特殊染色
 - ☐ 代表的な染色の染色法や適用を理解し、染色結果を評価できる。
- <染色>
- ☐ Hematoxylin-Eosin (HE) 染色
 - ☐ elastic van Gieson 染色, ☐ Azan 染色, ☐ Masson trichrome 染色, ☐ Victoria blue 染色,
 - ☐ 鍍銀法, ☐ Periodic acid-methenamine-silver stain (PAM) 染色
 - ☐ Periodic acid-Schiff stain (PAS) 染色, ☐ Alcian blue 染色, ☐ Mucicarmin 染色

☐ Sudan III 染色, ☐ Oil red O 染色
☐ Gram 染色, ☐ 抗酸菌染色, ☐ Grocott (Grocott methenamine silver, GMS) 染色,
☐ Warthin-Starry 染色
☐ Nissl 染色, ☐ Luxol fast blue 染色, ☐ Klüber-Barrera 染色, ☐ Bodian 染色, ☐ Gallyas-Braak 染色
☐ Peroxidase 染色, ☐ 非特異的エステラーゼ染色 (α -naphthyl butyrate esterase), ☐ 特異的エステラーゼ染色 (naphthol AS-D chloroacetate esterase)
☐ Papanicolaou 染色, ☐ Giemsa 染色

☐ (2) 免疫組織化学

☐ 免疫組織化学の基本原理を説明できる。
☐ 酵素抗体法と蛍光抗体法の相違を説明できる。
☐ 代表的な抗原賦活化法や増感法を説明できる。
☐ 病理診断における免疫組織化学の主な目的を説明できる。
☐ 主な抗体について適用を理解し、結果を正しく評価できる。
☐ 免疫組織化学の精度管理について説明できる。

☐ (2) 電子顕微鏡

☐ 透過型電子顕微鏡と走査型電子顕微鏡の違いを説明できる。
☐ 電子顕微鏡観察のための組織の固定や試料の作成法を説明できる。
☐ 病理診断における電子顕微鏡観察の主な目的を説明できる。
☐ 電子顕微鏡下に観察される細胞の超微形態を判定できる。

☐ (3) 分子病理

病理診断に適用される主な分子遺伝学的解析方法について、原理の説明と結果の解釈ができる。

<解析法・解析技術>

☐ Polymerase chain reaction (PCR), ☐ Reverse transcription (RT)-PCR, ☐ *in situ* hybridization, ☐ サザンブロット法 Southern blotting, ☐ Sanger シークエンス, ☐ 次世代シークエンサー

4. 口腔病変

A. 先天異常

☐ 唇顎口蓋裂 cleft lip and palate, ☐ 小舌症 microglossia, ☐ 巨舌症 macroglossia,
☐ Sturge-Weber 症候群 Sturge-Weber syndrome, ☐ Fordyce 顆粒 Fordyce granules, ☐ 先天性表皮水疱症 epidermolysis bullosa hereditaria, ☐ エナメル質形成不全症 amelogenesis imperfecta, ☐ 象牙質形成不全症 dentinogenesis imperfecta, ☐ 骨形成不全症 osteogenesis imperfecta, ☐ 鎖骨頭蓋異形成症 cleidocranial dysplasia, ☐ Gardner 症候群 Gardner syndrome, ☐ Papillon-Lefèvre 症候群 Papillon-Lefèvre syndrome, ☐ Peutz-Jeghers 症候群 Peutz-Jeghers syndrome, ☐ von Recklinghausen 病 von Recklinghausen disease, ☐ 基底細胞母斑症候群 basal cell nevus syndrome

B. 粘膜病変

<代謝障害>

☐ 色素沈着症 pigmentosis, ☐ アミロイド症 amyloidosis

<水疱性病変>

☐ 口唇ヘルペス herpes labialis, ☐ 帯状疱疹 herpes zoster, ☐ ヘルプアングーナ herpangina, ☐ 手足口病 hand-foot-and-mouth disease, ☐ 伝染性軟属腫 molluscum contagiosum, ☐ 麻疹 measles, ☐ 風疹 rubella, ☐ 天疱瘡 pemphigus, ☐ 水疱性類天疱瘡 bullous pemphigoid, ☐ 粘膜類天疱瘡 mucous membrane pemphigoid

<赤色病変>

☐ 多形性紅斑 erythema multiforme, ☐ 扁平苔癬 lichen planus

<潰瘍性病変>

- ☐再発性アフタ性口内炎 recurrent aphthous stomatitis, ☐ベーチェット病 Behçet's disease, ☐壊死性潰瘍性口内炎 necrotizing ulcerative stomatitis,
- <白色病変>
 - ☐カンジダ症 candidiasis
- <舌炎・口唇炎>
 - ☐地図舌 geographic tongue, ☐正中菱形舌炎 median rhomboid glossitis, ☐肉芽腫性口唇炎 granulomatous cheilitis
- <肉芽腫性炎>
 - ☐サルコイドーシス sarcoidosis, ☐Wegener 肉芽腫症 Wegener's granulomatosis
- <感染症>
 - ☐結核症 tuberculosis, ☐梅毒 syphilis, ☐放線菌症 actinomycosis, ☐クリプトコッカス症 cryptococcosis
- <嚢胞>
 - ☐萌出嚢胞 eruption cyst, ☐歯肉嚢胞 gingival cyst
- <先天異常>
 - ☐色素性乾皮症 xeroderma pigmentosum

C. 歯・顎骨・顎関節病変

- <齲蝕と继发症>
 - ☐齲蝕 dental caries, ☐歯根肉芽腫 radicular granuloma, ☐歯性上顎洞炎 odontogenic maxillary sinusitis,
- <辺縁性歯周組織の病変>
 - ☐歯周炎 periodontitis
- <顎骨の非歯源性腫瘍と腫瘍様病変>
 - ☐線維性異形成症 fibrous dysplasia, ☐セメント質骨性異形成(症) cemento-osseous dysplasia, ☐分節性歯牙上顎異形成(症) segmental odontomaxillary dysplasia, ☐若年性梁状骨形成線維腫 juvenile trabecular ossifying fibroma, ☐砂粒腫様骨形成線維腫 psammomatoid ossifying fibroma, ☐Langerhans 細胞組織球症 Langerhans cell histiocytosis, ☐骨腫 osteoma, ☐中心性巨細胞肉芽腫 central giant cell granuloma, ☐ケルビズム cherubism, ☐乳児の黒色(メラニン)性神経外胚葉性腫瘍 melanotic neuroectodermal tumor of infancy, ☐口蓋隆起/下顎隆起 torus palatinus / torus mandibularis, ☐類骨骨腫 / 骨芽細胞腫 osteoid osteoma / osteoblastoma, ☐軟骨腫 chondroma, ☐骨巨細胞腫 giant cell tumor of bone, ☐骨肉腫 osteosarcoma, ☐軟骨肉腫 chondrosarcoma, ☐Ewing 肉腫 Ewing sarcoma, ☐悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐骨髄腫(形質細胞腫) myeloma (plasmacytoma), ☐滑膜肉腫 synovial sarcoma, ☐転移性骨腫瘍 metastatic bone tumors
- <顎・顎関節の非腫瘍性病変>
 - ☐骨折 bone fracture, ☐急性骨髄炎 acute osteomyelitis, ☐慢性骨髄炎 chronic osteomyelitis, ☐関節リウマチ rheumatoid arthritis, ☐顎関節症 temporomandibular disorder, ☐変形性関節症 arthrosis deformans, ☐色素性絨毛結節性滑膜炎 pigmented villonodular synovitis, ☐滑膜(骨)軟骨腫症 synovial chondromatosis,
- <嚢胞>
 - ☐歯根嚢胞 radicular cyst, ☐炎症性傍側性嚢胞 inflammatory collateral cysts, ☐術後性線毛性嚢胞 surgical ciliated cyst, ☐鼻口蓋管嚢胞 nasopalatine duct cyst, ☐歯肉嚢胞 gingival cyst, ☐含歯性嚢胞 dentigerous cyst, ☐正角化性歯源性嚢胞 orthokeratinized odontogenic cyst, ☐側方性歯周嚢胞・ブドウ状歯源性嚢胞 lateral periodontal cyst and botryoid odontogenic cyst, ☐石灰化歯源性嚢胞 calcifying odontogenic cyst, ☐腺性歯源性嚢胞 glandular odontogenic cyst, ☐歯源性角化嚢胞 odontogenic keratocyst

D. 唾液腺病変

- <非腫瘍性病変>
 - ☐結節性オンコサイト過形成 nodular oncocytic hyperplasia, ☐リンパ上皮性唾液腺炎 lymphoepithelial sialadenitis, ☐壊死性唾液腺化生 necrotizing sialometaplasia, ☐唾石症 sialolithiasis, ☐粘液嚢胞 mucous cyst, ☐慢性硬化性唾液腺炎 chronic sclerosing sialadenitis, ☐流行性耳下腺炎 mumps, ☐巨細胞封入体症 cytomegalic inclusion disease, ☐シェーグレン症候群 Sjögren's syndrome, ☐ミクリッツ病 Mikulicz disease,

<腫瘍性病変>

☐多形腺腫 pleomorphic adenoma, ☐唾液腺筋上皮腫 salivary gland myoepithelioma, ☐基底細胞腺腫 basal cell adenoma, ☐ワルチン腫瘍 Warthin tumor, ☐オンコサイトーマ oncocytoma, ☐細管状腺腫 canalicular adenoma, ☐唾液腺嚢胞腺腫 cystadenoma of the salivary glands, ☐導管乳頭腫 ductal papillomas, ☐乳頭状唾液腺腺腫 sialadenoma papilliferum, ☐リンパ腺腫 lymphadenoma, ☐脂腺腺腫 sebaceous adenoma, ☐腺房細胞癌 acinic cell carcinoma, ☐粘表皮癌 mucoepidermoid carcinoma, ☐腺様嚢胞癌 adenoid cystic carcinoma, ☐分泌癌 secretory carcinoma, ☐多型腺癌 polymorphous adenocarcinoma, ☐硝子化明細胞癌 hyalinizing clear cell carcinoma, ☐基底細胞腺癌 basal cell adenocarcinoma, ☐導管内癌 intraductal carcinoma, ☐唾液腺導管癌 salivary duct carcinoma, ☐筋上皮癌 myoepithelial carcinoma, ☐上皮筋上皮癌 epithelial-myoepithelial carcinoma, ☐粘液腺癌 mucinous adenocarcinoma, ☐硬化性微小嚢胞腺癌 sclerosing microcystic adenocarcinoma, ☐多形腺腫由来癌 carcinoma ex pleomorphic adenoma, ☐唾液腺癌肉腫 carcinosarcoma of salivary gland, ☐脂腺腺癌 sebaceous adenocarcinoma, ☐リンパ上皮癌 lymphoepithelial carcinoma, ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐唾液腺芽腫 sialoblastoma, ☐唾液腺癌 非特定型 salivary gland carcinoma NOS, ☐唾液腺脂肪腫 sialolipoma

E. 歯原性腫瘍

<良性上皮性歯原性腫瘍>

☐腺腫様歯原性腫瘍 adenomatoid odontogenic tumor, ☐扁平歯原性腫瘍 squamous odontogenic tumor, ☐石灰化上皮性歯原性腫瘍 calcifying epithelial odontogenic tumor, ☐エナメル上皮腫, 単嚢胞型 ameloblastoma, unicystic type, ☐エナメル上皮腫, 骨外型/周辺型 ameloblastoma, extraosseous / peripheral type, ☐エナメル上皮腫, 通常型 ameloblastoma, conventional, ☐腺様エナメル上皮腫 adenoid ameloblastoma, ☐転移性エナメル上皮腫 metastasizing ameloblastoma

<良性上皮間葉混合性歯原性腫瘍>

☐歯牙腫 odontoma, ☐原始性歯原性腫瘍 primordial odontogenic tumour, ☐エナメル上皮線維腫 ameloblastic fibroma, ☐象牙質形成性幻影細胞腫 dentinogenic ghost cell tumor

<良性間葉性歯原性腫瘍>

☐歯原性線維腫 odontogenic fibroma, ☐セメント芽細胞腫 cementoblastoma, ☐セメント質骨形成線維腫 cemento-ossifying fibroma, ☐歯原性粘液腫 odontogenic myxoma

<悪性歯原性腫瘍>

☐硬化性歯原性癌 sclerosing odontogenic carcinoma, ☐エナメル上皮癌 ameloblastic carcinoma, ☐明細胞性歯原性癌 clear cell odontogenic carcinoma, ☐幻影細胞性歯原性癌 ghost cell odontogenic carcinoma, ☐原発性骨内癌 非特定型 primary intraosseous carcinoma NOS, ☐歯原性癌肉腫 odontogenic carcinosarcoma, ☐歯原性肉腫 odontogenic sarcoma

F. 非歯原性腫瘍および腫瘍様病変

☐乳頭腫 papilloma, ☐乳頭状過形成 papillary hyperplasia, ☐エプーリス epulis, ☐疣贅型黄色腫 verruciform xanthoma, ☐異物肉芽腫 foreign body granuloma, ☐ケラトアカン トーマ keratoacanthoma, ☐線維腫 fibroma, ☐線維腫症 fibromatosis, ☐侵襲性線維腫症 aggressive fibromatosis, ☐結節性筋膜炎 nodular fasciitis, ☐脂肪腫 lipoma, ☐血管腫 hemangioma, ☐血管外皮腫 hemangiopericytoma, ☐グロムス腫瘍 glomus tumor, ☐リンパ管腫 lymphangioma, ☐平滑筋腫 leiomyoma, ☐横紋筋腫 rhabdomyoma, ☐顆粒細胞腫 granular cell tumor, ☐神経鞘 Schwannoma, ☐神経線維腫 neurofibroma, ☐神経線維腫症 neurofibromatosis, ☐色素性母斑 pigmented nevus, ☐白板症 leukoplakia, ☐紅板症 erythroplakia, ☐粘膜下線維症 submucosal fibrosis, ☐口腔潜在的悪性疾患ならびに口腔上皮性異形成 oral potentially malignant disorders and oral epithelial dysplasia, ☐扁平上皮内癌 squamous cell carcinoma in situ, ☐扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐口腔ならびに舌可動部の疣状癌 verrucous carcinoma of the oral cavity and mobile tongue, ☐乳頭状扁平上皮癌 papillary squamous cell carcinoma, ☐腺扁平上皮癌 adenosquamous carcinoma, ☐類基底扁平上皮癌 basaloid squamous cell carcinoma, ☐紡錘細胞癌 spindle cell carcinoma, ☐未分化癌 undifferentiated carcinoma, ☐基底細胞癌 basal cell carcinoma,

☐ 孔道癌 carcinoma cuniculatum, ☐ 線維肉腫 fibrosarcoma, ☐ 悪性線維性組織球腫 malignant fibrous histiocytoma, ☐ 脂肪肉腫 liposarcoma, ☐ 平滑筋肉腫 leiomyosarcoma, ☐ 横紋筋肉腫 rhabdomyosarcoma, ☐ 血管肉腫 angiosarcoma, ☐ 悪性顆粒細胞腫瘍 malignant granular cell tumor, ☐ 胞巣状軟部肉腫 alveolar soft part sarcoma, ☐ 悪性末梢神経鞘腫瘍 malignant peripheral nerve sheath tumor, ☐ 白血病 leukemia, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 髄外性形質細胞腫 extramedullary plasmacytoma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 転移性腫瘍 metastatic tumors, ☐ 孤立性線維性腫瘍 solitary fibrous tumor, ☐ 炎症性筋線維芽細胞性腫瘍 inflammatory myofibroblastic tumor

G. 隣接頭頸部病変

(1) 鼻腔・副鼻腔, 咽頭, 喉頭:

☐ 鼻茸 nasal polyp, ☐ 鼻炎 rhinitis, ☐ 副鼻腔炎 sinusitis, ☐ 喉頭結節 laryngeal nodule, ☐ アスペルギルス症 aspergillosis, ☐ 扁桃炎 tonsillitis, ☐ 扁桃肥大, ☐ Wegener 肉芽腫症 Wegener's granulomatosis, ☐ 乳頭腫 papilloma, ☐ 内反性乳頭腫 inverted papilloma, ☐ 若年性血管線維腫 juvenile angiofibroma, ☐ 鼻腔副鼻腔癌 sinonasal carcinoma, ☐ 上咽頭癌 nasopharyngeal carcinoma, ☐ 中咽頭癌 oropharyngeal carcinoma, ☐ 下咽頭癌 hypopharyngeal carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 髄膜腫 meningioma, ☐ 嗅神経芽腫 olfactory neuroblastoma, ☐ 小細胞癌 small cell carcinoma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 頭蓋咽頭腫 craniopharyngioma, ☐ 脊索腫 chordoma,

(2) リンパ節:

☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 濾胞性過形成 follicular hyperplasia, ☐ 伝染性単核症 infectious mononucleosis, ☐ 組織球性壊死性リンパ節炎 histiocytic necrotizing lymphadenitis, ☐ 木村病 Kimura's disease, ☐ サルコイドーシス sarcoidosis, ☐ 結核性リンパ節炎 tuberculosis lymphadenitis, ☐ Castleman 病 Castleman's disease, ☐ 類皮嚢胞 dermoid cyst, ☐ 類表皮嚢胞 epidermoid cyst, ☐ 甲状腺舌嚢胞 thyroglossal duct cyst, ☐ リンパ上皮性嚢胞 lymphoepithelial cyst, ☐ 頸部胸腺嚢胞 cervical thymic cyst, ☐ 頸部嚢状ヒグローム cystic hygroma colli, ☐ 頸動脈小体傍神経節腫 carotid body paraganglioma

(3) 甲状腺, 副甲状腺:

☐ 橋本病 Hashimoto's disease, ☐ 腺腫様甲状腺腫 adenomatous goiter, ☐ 濾胞腺腫 follicular adenoma, ☐ 乳頭癌 papillary carcinoma, ☐ 濾胞癌 follicular carcinoma, ☐ 髄様癌 medullary carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 副甲状腺腫 parathyroid adenoma, ☐ 硝子化索状腫瘍 hyalinizing trabecular adenoma

(4) 眼器, 耳:

☐ 霰粒腫 chalazion, ☐ 眼瞼黄色腫 xanthelasma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 網膜芽細胞腫 retinoblastoma, ☐ 皮脂腺癌 sebaceous gland carcinoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma, ☐ 日光角化症 solar keratosis, ☐ 真珠腫 cholesteatoma, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 基底細胞癌 basal cell carcinoma, ☐ 髄膜腫 meningioma, ☐ 神経鞘腫 schwannoma

H. 細胞診

(1) 口腔粘膜病変

☐ カンジダ症 candidiasis, ☐ 放線菌症 actinomycosis, ☐ 単純疱疹 herpes simplex, ☐ 尋常性天疱瘡 pemphigus vulgaris, ☐ 異形成病変 epithelial dysplasia, ☐ 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma, ☐ 悪性黒色腫 malignant melanoma, ☐ 転移性癌 metastatic cancer

(2) 嚢胞状病変

☐ 歯原性角化嚢胞 odontogenic keratocyst, ☐ エナメル上皮腫 ameloblastoma

(3) 唾液腺病変

☐ 多形腺腫 pleomorphic adenoma, ☐ ワルチン腫瘍 Warthin tumor, ☐ 腺房細胞癌 acinic cell carcinoma, ☐ 粘表皮癌 mucoepidermoid carcinoma, ☐ 腺様嚢胞癌 adenoid cystic carcinoma, ☐ 多形腺腫由来癌 carcinoma ex pleomorphic adenoma, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma

(4) リンパ節病変

☐ 結核性リンパ節炎 tuberculosis lymphadenitis, ☐ 悪性リンパ腫 malignant lymphoma

(5) 甲状腺

□乳頭癌 papillary carcinoma, □濾胞性腫瘍 follicular tumor, □髄様癌 medullary carcinoma, □未分化癌 undifferentiated carcinoma, □悪性リンパ腫 malignant lymphoma, □橋本氏病 Hashimoto's disease, □腺腫様甲状腺腫 adenomatous goiter